名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ステージ/イベントプロダクション プロジェクト	必修選択	必修選択	年次	1・2・3年	担当教員	斎須 敏治
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60	開講区分	前期
コース	全コース				4	曜日・時限	火曜日2.3限

【授業の学習内容】
アーティストを売り出すための、マーケティング、プロモーションについて学ぶ。
※芸能プロダクションを経て、現在フリーランスとしてプロダクションの制作実務を行う。

【到達目標】
プロモーションプランを組み立て、実際にイベントを行えるスキルを身につける。

授業計画・内容	
1回目	アンケート実施。生徒の好きな音楽、普段の音楽に関する市場調査実施。
2回目	各自、題材を決め　アーティストをプレゼンテーションする
3回目	各自、題材を決め　アーティストをプレゼンテーションする
4回目	レコード会社のプロモーター基本編　アーティスト資料について学ぶ
5回目	エイベックス創業者について学ぶ（映像視聴）
6回目	秋元康のAKBプロジェクを通じて、プロデュースについて学ぶ
7回目	アーティスト、販促イベント、タイムテーブルの書き方を学ぶ
8回目	アーティスト、販促イベント、タイムテーブルの書き方を学ぶ
9回目	考える力・考える癖を つける基本　自分の意見をもつことの重要性について学ぶ
10回目	考える力・考える癖を つける基本　自分の意見をもつことの重要性について学ぶ
11回目	市場調査　タワーレコード、ヴィレヴァン、HMVなどの店舗を調査する
12回目	市場調査　タワーレコード、ヴィレヴァン、HMVなどの店舗を調査する
13回目	音楽業界の著名人のインタビューを考察し、レポート提出
14回目	テスト
15回目	総括
準備学習 時間外学習	
評価方法	授業態度（10%） レポート（10%） 実地試験（80%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生への メッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ステージ/イベントプロダクション プロジェクト	必修選択	必修選択	年次	1・2・3年	担当教員	藤村典子
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60	開講区分	後期
コース	全コース				4	曜日・時限	水曜　1限

【授業の学習内容】
マスメディアと宣伝、テレビ局と新聞社など音楽業界の関係性をはじめ番組制作に必要なイベント制作について学ぶ。また楽器についての知識を楽器セッティングを通じて習得する。※プロダクションである株式会社アミューズを経て、フリーランスとして名古屋を中心としたバンドマネジメント・制作を行う。

【到達目標】
番組制作に必要な各種イベント・コンサートの制作についての基礎知識を習得し、コンサート・ライブ・イベントを実施できるようにする。

授業計画・内容	
1回目	授業の説明。番組制作などに必要なイベント制作の基本的な概念を学ぶ。
2回目	イベンター（プロモーター）とアーティストマネージメントの関係。コンサートスタッフの仕事について学ぶ。
3回目	プロダクション・レコードメーカーでの業務について学ぶ。
4回目	野外フェスティバル（夏フェスetc）マネージャーとしてのかかわり方を学ぶ
5回目	楽器についての知識と必要性。用語、機材についての知識を習得
6回目	楽器についての知識と必要性。ドラムなどのセッティングを習得
7回目	ライブ制作の基礎を学ぶ。コンセプト、開催時期、予算組など
8回目	ライブ制作の基礎を学ぶ。コンセプト、開催時期、予算組など
9回目	現代のライブシーンを考察し、これからのライブ制作について学ぶ。
10回目	イベントの仕組みについて～企画から本番当日までの流れを学ぶ。
11回目	イベントの仕組みについて～企画から本番当日までの流れを学ぶ。
12回目	プロモーション～テレビ局、新聞社などマスメディアと宣伝について学ぶ
13回目	プロモーション～テレビ局、新聞社などマスメディアと宣伝について学ぶ
14回目	試験
15回目	総括
準備学習時間外学習	
評価方法	1. 定期試験（50%） 2. 課題提出（50%）
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ステージ/ライティングエンジニアリング	必修選択	必修選択	年次	1・2年	担当教員	清水 正典
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	演習	総時間（単位）	60	開講区分	前期
コース	全コース				4	曜日・時限	木曜5,6限

【授業の学習内容】
照明スタッフとして必要な基礎的な知識と技術を習得します。
※デライト株式会社 （照明会社）所属。約30年照明担当として従事している。

【到達目標】
照明の仕事に必要な理論や照明デザインをするための基礎的な知識を学び、演習やイベントでの実践に活かせるようになる。

授業計画・内容	
1回目	授業内容の説明、機材説明　舞台機構
2回目	機材説明、ケーブルコネクターの説明　巻き方　色について　LHQでの色の混ざり方を学ぶ
3回目	仕込み演習Ⅰ　簡単な仕込み図の見方　書き方　調光卓の操作について学ぶ
4回目	仕込み図の作成　調光卓/PINSPOTの操作について学ぶ
5回目	照明仕込み 照明シュートについて　調光卓の操作について学ぶ
6回目	照明仕込み 照明シュートについて　調光卓の操作について学ぶ
7回目	サオによる照明シュートについて学ぶ
8回目	学園祭に向けての準備。仕込み図、機材選定を行う。
9回目	学園祭での役割と反省点
10回目	ホール演習準備　役割分担
11回目	ホール演習準備　仕込み図、機材リストの確認
12回目	ホール演習　港文化小劇場　ホール説明　照明設備説明　前明かりのシュート
13回目	仕込み演習　劇場での仕込み時の動きについて学ぶ
14回目	仕込み演習　劇場での仕込み時の動きについて学ぶ
15回目	ミュージカルの舞台製作の振り返り。
準備学習 時間外学習	
評価方法	実技、授業態度などを評価
受講生への メッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ステージ/ライティングエンジニアリング	必修選択	必修選択	年次	1・2年	担当教員	清水 正典
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	演習	総時間（単位）	60	開講区分	後期
コース	全コース				4	曜日・時限	木曜5,6限

【授業の学習内容】
照明スタッフとして必要な基礎的な知識と技術を習得します。
※デライト株式会社（照明会社）所属。約30年照明担当として従事している。

【到達目標】
照明の仕事に必要な理論や照明デザインをするための基礎的な知識を学び、演習やイベントでの実践に活かせるようになる。

授業計画・内容	
1回目	前期の復習
2回目	仕込み図の作成に伴い必要な要素を学ぶ。電源、灯体、回線図など
3回目	仕込み図を作成する。
4回目	仕込み図を作成する。
5回目	仕込み図を基に、機材を仕込む
6回目	仕込み図を基に、機材を仕込む
7回目	仕込み図を基に、機材を仕込む
8回目	ホール演習に向けての準備。役割分担
9回目	ホール演習に向けての準備。仕込み図作成。機材の選定、確認をチームに分けて行う。
10回目	ホール演習に向けての準備。仕込み図作成。機材の選定、確認をチームに分けて行う。
11回目	ホール演習　瑞穂文化小劇場　劇場でのオペレートを行う。
12回目	ホール演習　振り返り
13回目	卒業進級展に向けて役割分担。
14回目	卒業進級展に向けて仕込み図作成。機材の選定、確認をチームに分けて行う。
15回目	卒業進級展に向けて仕込み図作成。機材の選定、確認をチームに分けて行う。
準備学習時間外学習	
評価方法	実技、授業態度などを評価
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ステージ/ライティングエンジニアリング	必修選択	必修	年次	3	担当教員	黒沼 美和
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義	総時間（単位）	90	開講区分	前期
コース	全コース				6	曜日・時限	月曜1～3限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
ライブのムービングなどの仕込み図、DMX配線図の書き方。データの書きかた、きっかけの取り方やムービングに関わってくるDMXの基本的な作り方を身につけます。

【到達目標】
音楽を聴き、データを作成、そのデータをもとに打ち込みが出来る様になるのが目標です。

授業計画・内容	
1回目	挨拶/自己紹介/授業内容の説明
2回目	仕込み図の見方/DMXの8の字巻き
3回目	Qシート、データの書き方
4回目	MA2の打ち込みかた①
5回目	MA2の打ち込みかた②
6回目	学園祭を終えて反省会/MA2の復習
7回目	20C、DMXを分解。結線の確認
8回目	DVDを見ながら明かりをデータ化してみる
9回目	曲を聴いてQシート、データを作成①(15Qほど)皆同じ仕込み図
10回目	曲を聴いてQシート、データを作成②(20Q以上)皆同じ仕込み図
11回目	曲を聴いてQシート、データを作成③(30Q以上)皆同じ仕込み図
12回目	DMXの作成や復習①
13回目	DMXの作成や復習②
14回目	前期の反省会/本番
15回目	テスト

準備学習 時間外学習	データを作成する時は好きな曲で大丈夫ですので、前もって曲を決めておいて下さい。		
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	実技テスト（提示された課題に対して正しく打ち込みができるか、また基本操作を習得しているか）
受講生への メッセージ			

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ステージ/ライティングエンジニアリング	必修選択	必修	年次	3	担当教員	黒沼 美和
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義	総時間（単位）	90	開講区分	後期
コース	全コース				6	曜日・時限	月曜4～6限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
オペレートだけではなく機材トラブルなどにも対処できるようにDMXなどの作成も行います。

【到達目標】
トラブルにもすぐ対処できるのが目標です。

授業計画・内容	
1回目	授業内容の説明/機材,ケーブルの確認
2回目	DMXの作り方について①
3回目	DMXの作り方について②
4回目	MA2の打ち込み確認①&データの作成の復習(チームを2つ作り卓チームとデータに分ける)
5回目	MA2の打ち込み確認②&データの作成の復習(チームを2つ作り卓チームとデータに分ける)
6回目	DMXの作成①
7回目	DMXの作成②
8回目	DMXの作成③(状況により、9回目10回目に延長)
9回目	メンテナスのやり方①ムービングのレンズの拭き方
10回目	メンテナスのやり方②ムービングのネタの変え方
11回目	曲を聴き仕込み図、Qシート、データの作成
12回目	曲を聴き仕込み図、Qシート、データの作成
13回目	曲を聴き仕込み図、Qシート、データの作成
14回目	作ったデータで本番を想定したシミュレーション
15回目	テスト
準備学習 時間外学習	
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 実技テスト（提示された課題に対して正しく打ち込みができるか、また基本操作を習得しているか）
受講生への メッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	パフォーマンス（Performance）	必修選択	必修選択	年次	1.2.3	担当教員	有限会社ソウルマティックス
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60	開講区分	前期
コース	全コース				4	曜日・時限	火曜1・2限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
ヴォーカリストとして大切な基礎の知識と実技を学び、歌唱技術に活かすためのトレーニング方法を習得。
また、外化をすることで他者とのコミニケーションをはかり、そのスキルも習得。
〈講師プロフィール〉有限会社ソウルマティックスのディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行

【到達目標】
1年次終了時には、基礎知識を理解し、自発的にトレーニングを行える環境を整えることを目標とする。

授業計画・内容	
1回目	自己紹介で始まり、前期目標を説明。その後基礎トーレニング方法を実演出来る
2回目	基礎トレーニング講義、実演。ファルセットの発声法を習得
3回目	1人1人イーストレッチ、ファルセット確認。基礎を活かすための課題曲を実演出来る
4回目	全体基礎トレーニング実演。個人的課題曲を基礎を生かし歌唱出来る
5回目	1人1人イーストレッチ、ファルセット確認。メジャースケールでの発声が出来る
6回目	メジャースケールでの発声を軸にマイナースケールでの発声が出来る
7回目	基礎知識、トレーニング小テスト
8回目	全体基礎トレーニング。1人1人イーストレッチ、ファルセットの発声法を習得
9回目	全体基礎トレーニング。基礎を応用した課題曲を実演出来る
10回目	1人1人イーストレッチ、ファルセットを用いた課題曲を実演出来る
11回目	全体基礎トレーニング。1人1人イーストレッチ、ファルセットの発声法を習得
12回目	課題曲を通して基礎から応用できているかを確認し理解出来る
13回目	基礎トレーニングを通して発声法を説明4出来る
14回目	課題曲を通して発声法を生かす事が出来る
15回目	前期基礎トレーニング実演テスト
準備学習 時間外学習	授業外での個人練習、および予習・復習
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 実技テスト（基礎知識の理解力、実演力）
受講生への メッセージ	基礎練習は地味ではありますが、ヴォーカリストとして必ず必要となる技術と知識を学ぶ事ができます。他者との比較ではなく、自分自身とみつめる時間を過ごすことで、ヴォーカリストとして必ず大きく成長します。トレーニングを習慣化させ、日々の成長に繋げていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
iPad

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	パフォーマンス（Performance）	必修選択	必修選択	年次	1.2.3	担当教員	有限会社ソウルマティックス
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60	開講区分	後期
コース	全コース				4	曜日・時限	火曜1・2限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
ヴォーカリストとして大切な基礎の知識と実技を学び、歌唱技術に活かすためのトレーニング方法を習得。
また、外化をすることで他者とのコミニケーションをはかり、そのスキルも習得。
〈講師プロフィール〉有限会社ソウルマティックスのディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行

【到達目標】
1年次終了時には、基礎知識を理解し、自発的にトレーニングを行える環境を整えることを目標とする。

授業計画・内容	
1回目	前期内容を振り返り、後期授業目標設定。基礎トレーニング方法を実演出来る
2回目	新しい発声法を理解し説明出来る
3回目	新しい発声法を用いてトレーニング出来る
4回目	新しい発声法を用いて課題曲を実演出来る
5回目	呼吸を理解し課題曲を実演出来る
6回目	表情筋を使用し課題曲を実演出来る
7回目	イーストレッチ・共鳴・裏声小テスト。課題曲指導。
8回目	外化。課題曲実演会。
9回目	ソルフェージュを行い課題曲の譜面を理解出来る
10回目	新しい発声法を理解し説明出来る
11回目	新しい発声法を用いてトレーニング出来る
12回目	新しい発声法を用いて課題曲を実演出来る
13回目	呼吸と表情筋を使い課題曲を実演出来る
14回目	共鳴を理解し課題曲を実演出来る
15回目	外化。課題曲実演会。
準備学習 時間外学習	授業外での個人練習、および予習、復習。
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 実技テスト（基礎知識の理解力、実演力）
受講生への メッセージ	基礎練習は地味ではありますが、ヴォーカリストとして必ず必要となる技術と知識を学ぶ事ができます。 他者との比較ではなく、自分自身とみつめる時間を過ごすことで、ヴォーカリストとして必ず大きく成長します。トレーニングを習慣化させ、日々の成長に繋げていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
iPad

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	パフォーマンス（Performance）	必修選択	必修選択	年次	1.2.3	担当教員	松原　匠
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60	開講区分	前期
コース	全コース				4	曜日・時限	火曜3・4限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
実際の演奏で必要な技術をそれぞれの技術に合った課題曲を出しながら、実践し習得していく。楽器の仕組み、音色の選び方、その音色に合った奏法、キーチェンジの方法、様々なジャンルのリズム、アンサンブルする時は何をしたら良いか、耳コピの方法を習得します。
〈講師プロフィール〉Rachel Mother Gooseのキーボーディストとしてユニバーサル・ミュージックからメジャーデビュー。その他misono等のアーティストとの共演、専門学校やスタジオ等での演奏指導、またインストゥルメンタルバンドプロジェクト WMOでの活動など、多岐に渡り活動中。

【到達目標】
基本的な楽器の操作ができるようになること。課題曲の自分のパートを耳コピできるようになること。シャッフル、イーブンの違いや、ハネたリズムを理解できること。ブルース進行でバッキング、ソロ、キューを出せるようになること。

授業計画・内容	
1回目	自己紹介、1年間での具体的な目標設定
2回目	楽器の基本的な使用方法を理解し操作できるようにする
3回目	担当楽器のバンド内での役割を理解し演奏できるようにする
4回目	7thのコードを理解し弾けるようにする
5回目	ブルース進行について理解しバッキングができるようにする
6回目	シャッフルのリズムを理解し弾けるようにする
7回目	基本的なブルース進行でセッションができるようにする
8回目	耳コピの方法を習得する
9回目	耳コピで音をとり再現できるようにする
10回目	ダイアトニックコードを理解できるようにする
11回目	ダイアトニックコードを理解しキーチェンジができるようにする
12回目	8分のグルーヴを体で感じ演奏できるようにする
13回目	16分の細かいグルーヴを体で感じ演奏できるようにする
14回目	今までのおさらい
15回目	実技テスト
準備学習 時間外学習	特に必要はありません。
評価方法	授業態度10% 出席率10% 実技テスト80% 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生への メッセージ	アンサンブルの中で必要な技術を教えていきます。奏法や知識を使いカッコいいミュージシャンになりましょう。よろしくお願いします。

【使用教科書・教材・参考書】
その都度必要な資料は渡しますが、特に用意するものはありません。

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	パフォーマンス（Performance）	必修選択	必修選択	年次	1.2.3	担当教員	松原　匠
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60	開講区分	後期
コース	全コース				4	曜日・時限	火曜3・4限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
実際の演奏で必要な技術をそれぞれの技術に合った課題曲を出しながら、実践し習得していく。楽器の仕組み、音色の選び方、その音色に合った奏法、キーチェンジの方法、様々なジャンルのリズム、アンサンブルする時は何をしたら良いか、耳コピの方法を習得します。
〈講師プロフィール〉Rachel Mother Gooseのキーボーディストとしてユニバーサル・ミュージックからメジャーデビュー。その他misono等のアーティストとの共演、専門学校やスタジオ等での演奏指導、またインストゥルメンタルバンドプロジェクト WMOでの活動など、多岐に渡り活動中。

【到達目標】
ファンク、ジャズ、ロックのリズム感を理解し、バッキングやソロを弾けるようにすること。アレンジはどのように入れれば良いかを判断できること。チャーチモードを理解し弾けるようにすること。

授業計画・内容	
1回目	前期のおさらい
2回目	ファンクの16分のリズム感を習得し、演奏できるようにする
3回目	ゴーストノートや休符を入れたパーカッシブなソロを弾けるようにする
4回目	演奏しながらコーラスする方法を習得し、実践できるようにする
5回目	ペンタトニックを使ったロックなフレーズを習得し、弾けるようにする
6回目	担当パートが無い曲での演奏方法を習得し、アンサンブルに活かせるようにする
7回目	ブルーノートなどの半音を使ったフレーズを弾けるようにする
8回目	スイングのリズムを理解し弾けるようにする。
9回目	Ⅱ－Ⅴを理解し、そこに合う音使いを取得し弾けるようにする
10回目	Ⅱ－Ⅴを理解し、そこに合う音使いを取得し弾けるようにする
11回目	チャーチモードを理解し様々なキーで弾けるようにする
12回目	チャーチモードを理解し様々なキーで弾けるようにする
13回目	今までのおさらい
14回目	実技テスト
15回目	総復習
準備学習 時間外学習	特に必要はありません。
評価方法	授業態度10% 出席率10% 実技テスト80% 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生への メッセージ	前期では基本的な楽器の操作や役割を習得しましたが、後期ではもう少し他のジャンルのリズムや知識を教えていきます。幅を広げて様々なジャンルに携わることができるミュージシャンを目指しましょう。よろしくお願いします。

【使用教科書・教材・参考書】
その都度必要な資料は渡しますが、特に用意するものはありません。

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	パフォーマンス（Performance）	必修選択	必修選択	年次	1.2.3	担当教員	河野　充生
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30	開講区分	前期
コース	全コース				2	曜日・時限	火曜5限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
アコースティック、エレクトリックの生楽器（4リズム、パーカッション、ストリングス、ホーンズなど）に関する知識を深め、基本的な音域や奏法について実習を行う。ギター、ベース、キーボード、ドラムス、パーカッションについては実際に演奏し、アンサンブルやバンドアレンジの基本的な手法を習得する。
〈講師プロフィール〉ライブ、レコーディングでサポートした主なアーティストは、絢香、PUFFY、森山直太朗、松浦亜弥、近藤真彦、テゴマス、川嶋あい、嵐、KinKi Kids、Kiroro、小林香織など。ロックバンドBlindBirdなどでも精力的に活動中。

【到達目標】
1、様々な生楽器の名称とその音色について説明できる。 2、 4リズムの内、1種類以上の楽器の基本的な奏法を習得する。 3、アンサンブルについての基礎的な知識や考え方を説明できる。

授業計画・内容	
1回目	生楽器の名称とその音色について①　ギターの種類や音色、音源からの聴き取りが出来る。
2回目	生楽器の名称とその音色について②　ベースの種類や音色、音源からの聴き取りが出来る。
3回目	生楽器の名称とその音色について③　キーボードの種類や音色、音源からの聴き取りが出来る。
4回目	生楽器の名称とその音色について④　ドラムスの種類や音色、音源からの聴き取りが出来る。
5回目	ドラムセットについて①　各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。
6回目	ドラムセットについて②　各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。
7回目	ベースについて①　ベースの種類とその音色、基本的な奏法を習得する。
8回目	ベースについて②　ベースの種類とその音色、基本的な奏法を習得する。
9回目	ギターについて①　ギターの種類とその音色、基本的な奏法を習得する。
10回目	ギターについて②　ギターの種類とその音色、基本的な奏法を習得する。
11回目	キーボードについて①　キーボードの種類とその音色、基本的な奏法を習得する。
12回目	キーボードについて②　キーボードの種類とその音色、基本的な奏法を習得する。
13回目	4リズムのアレンジメント　各楽器の役割を把握した上でのリズムアレンジを習得する。
14回目	4リズムのアレンジメント　各楽器の役割を把握した上でのリズムアレンジを習得す
15回目	総復習とテスト。
準備学習 時間外学習	生楽器を実際に手にして演奏してみること、また様々な生楽器の音色を体感することで、作曲やDTMに於けるアイデアを沢山身につけることができます。ワークショップ形式ですので、一緒に楽しみながら演奏しましょう。
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】
チャート、プリントを配布。

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	パフォーマンス（Performance）	必修選択	必修選択	年次	1.2.3	担当教員	河野　充生
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30	開講区分	後期
コース	全コース				2	曜日・時限	火曜5限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
アコースティック、エレクトリックの生楽器（4リズム、パーカッション、ストリングス、ホーンズなど）に関する知識を深め、基本的な音域や奏法について実習を行う。ギター、ベース、キーボード、ドラムス、パーカッションについては実際に演奏し、アンサンブルやバンドアレンジの基本的な手法を習得する。
〈講師プロフィール〉ライブ、レコーディングでサポートした主なアーティストは、絢香、PUFFY、森山直太朗、松浦亜弥、近藤真彦、テゴマス、川嶋あい、嵐、KinKi Kids、Kiroro、小林香織など。ロックバンドBlindBirdなどでも精力的に活動中。

【到達目標】
1、様々な生楽器の名称とその音色について説明できる。 2、 4リズムの内、1種類以上の楽器の基本的な奏法を習得する。 3、アンサンブルについての基礎的な知識や考え方を説明できる。

授業計画・内容	
1回目	ドラムセットについて③　基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。
2回目	ドラムセットについて④　基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。
3回目	ベースについて③　基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。
4回目	ベースについて④　基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。
5回目	ギターについて③　基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。
6回目	ギターについて④　基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。
7回目	キーボードについて③　基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。
8回目	キーボードについて④　基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。
9回目	パーカッションについて①　各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。
10回目	パーカッションについて②　各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。
11回目	ストリングスについて①　各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。
12回目	ストリングスについて②　各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。
13回目	ホーンズについて①　各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。
14回目	ホーンズについて②　各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。
15回目	総復習とテスト。
準備学習 時間外学習	生楽器を実際に手にして演奏してみること、また様々な生楽器の音色を体感することで、作曲やDTMに於けるアイデアを沢山身につけることができます。ワークショップ形式ですので、一緒に楽しみながら演奏しましょう。
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生への メッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】
チャート、プリントを配布。

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	パフォーマンスプロジェクト（Performance Projects）	必修選択	必修選択	年次	1.2.3	担当教員	渡辺 智哉
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60	開講区分	前期
コース	全コース				4	曜日・時限	金曜3・4限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
ヴォーカル、ギター、ベース、ドラム、キーボードのパートと課題曲をアンサンブルし、実際のセッションの中での立ち位置を理解し、演奏方法やパフォーマンス、インプロビゼーションの技術を習得する。課題曲を2週ごとに1曲出し、1週目はその曲のアナライズをし、2週目は実際にアンサンブルを行う。
※実務者経験：ルネ音楽教室代表。自身のバンドやサポート・セッションギタリスト、インストラクターとして、名古屋を中心に15年以上活動を続けている。

【到達目標】
アナライズまでには課題曲をしっかり聴き、できる限り自分のパートを弾けるようにしておく。アナライズでは、聴き取ってきたフレーズやリズムが合っているかの確認と訂正、音色の選択、ソロがある場合はインプロビゼーションができるようにする。アンサンブルでは実際にアナライズした内容を実践し、バンド内でのグルーヴ感や、演奏力、アイコンタクトやキュー出し、パフォーマンス力を身に付ける。

授業計画・内容	
1回目	課題曲1アナライズ　楽曲の説明ができる
2回目	課題曲1アンサンブル　アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる
3回目	課題曲2アナライズ　楽曲の説明ができる
4回目	課題曲2アンサンブル　アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる
5回目	課題曲3アナライズ　楽曲の説明ができる
6回目	課題曲3アンサンブル　アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる
7回目	課題曲4アナライズ　楽曲の説明ができる
8回目	課題曲4アンサンブル　アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる
9回目	課題曲5アナライズ　楽曲の説明ができる
10回目	課題曲5アンサンブル　アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる
11回目	課題曲6アナライズ　楽曲の説明ができる
12回目	課題曲6アンサンブル　アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる
13回目	課題曲7アナライズ　楽曲の説明ができる
14回目	課題曲7アンサンブル　アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる
15回目	アンサンブル総復習
準備学習 時間外学習	
評価方法	授業態度10% 出席率10%　　実 技テスト80% 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生への メッセージ	実際のアンサンブルを通して、演奏面だけでなく、パフォーマンス力も付けてしっかりステージの上で輝けるようなミュージシャンを目指しましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
その都度必要な資料は渡しますが、特に用意するものはありません。

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	パフォーマンスプロジェクト（Performance Projects）	必修選択	必修選択	年次	1.2.3	担当教員	渡辺　智哉
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60	開講区分	後期
コース	全コース				4	曜日・時限	金曜3・4限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
ヴォーカル、ギター、ベース、ドラム、キーボードのパートと課題曲をアンサンブルし、実際のセッションの中での立ち位置を理解し、演奏方法やパフォーマンス、インプロビゼーションの技術を習得する。課題曲を2週ごとに1曲出し、1週目はその曲のアナライズをし、2週目は実際にアンサンブルを行う。
※実務者経験：ルネ音楽教室代表。自身のバンドやサポート・セッションギタリスト、インストラクターとして、名古屋を中心に15年以上活動を続けている。

【到達目標】
アナライズまでには課題曲をしっかり聴き、できる限り自分のパートを弾けるようにしておく。アナライズでは、聴き取ってきたフレーズやリズムが合っているかの確認と訂正、音色の選択、ソロがある場合はインプロビゼーションができるようにする。アンサンブルでは実際にアナライズした内容を実践し、バンド内でのグルーヴ感や、演奏力、アイコンタクトやキュー出し、パフォーマンス力を身に付ける。

授業計画・内容	
1回目	課題曲1アナライズ　楽曲の説明ができる
2回目	課題曲1アンサンブル　アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる
3回目	課題曲2アナライズ　楽曲の説明ができる
4回目	課題曲2アンサンブル　アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる
5回目	課題曲3アナライズ　楽曲の説明ができる
6回目	課題曲3アンサンブル　アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる
7回目	課題曲4アナライズ　楽曲の説明ができる
8回目	課題曲4アンサンブル　アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる
9回目	課題曲5アナライズ　楽曲の説明ができる
10回目	課題曲5アンサンブル　アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる
11回目	課題曲6アナライズ　楽曲の説明ができる
12回目	課題曲6アンサンブル　アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる
13回目	課題曲7アナライズ　楽曲の説明ができる
14回目	課題曲7アンサンブル　アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる
15回目	アンサンブル総復習
準備学習 時間外学習	
評価方法	授業態度10% 出席率10%　　実 技テスト80% 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生への メッセージ	実際のアンサンブルを通して、演奏面だけでなく、パフォーマンス力も付けてしっかりステージの上で輝けるようなミュージシャンを目指しましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
その都度必要な資料は渡しますが、特に用意するものはありません。

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名 （英）	音楽史 （music history）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	水沼　慎一郎
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 （単位）	60	開講区分	前期
コース	全コース				4	曜日・時限	水曜2.3限

【授業の学習内容】
実際の楽曲を通し、様々な音楽の歴史を深く学んでいく。
※作曲家・ピアニスト　新潟大学卒業。スコラ・カントルム（フランス・パリ）卒業。作曲を清水研作、ナルシス・ボネ、パトリス・ショルティーノの各氏に師事。

【到達目標】
日本と世界の音楽史を学び比較し、これからの音楽を考えていく力を習得する。

授業計画・内容	
1回目	ポピュラー音楽を中心とした歴史背景の説明
2回目	日本の音楽と世界の歴史的背景
3回目	西洋音楽史①：古代の音楽
4回目	西洋音楽史②：中世の音楽
5回目	西洋音楽史③：近代の音楽
6回目	西洋音楽史④：現代の音楽
7回目	西洋音楽史⑤：ブルースからジャズ
8回目	西洋音楽史⑥：ポップス
9回目	日本音楽史①：ポピュラー全盛期
10回目	日本音楽史②：民謡
11回目	日本音楽史③：雅楽
12回目	日本と東洋・欧米の音楽的関係：俯瞰分析
13回目	テスト範囲総括
14回目	筆記テスト
15回目	テスト返却　総括
準備学習 時間外学習	
評価方法	1：定期試験10% 2：レポート10% 3：出席率60% 4：授業態度20%
受講生への メッセージ	音楽史の硬いイメージを取り払い、今日の音楽との関わりを丁寧に伝えるよう心がけます。 年号を暗記するなどの従来の方法だけでなく、実際の曲を通し、音楽の聞き方を一緒に広く変えていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：「Western Music」Claude V. Palisca他
副読本：「音楽中辞典」池辺晋一郎 等
準備物：メモ、筆記用具等

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	音楽史（music history）	必修選択	必修	年次	2	担当教員	水沼 慎一郎
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義	総時間	60	開講区分	後期
コース	全コース			（単位）	4	曜日・時限	水曜4.5限

【授業の学習内容】
海外を中心にポピュラーミュージックの歴史認識を習得する。
※作曲家・ピアニスト　新潟大学卒業。スコラ・カントルム（フランス・パリ）卒業。作曲を清水研作、ナルシス・ボネ、パトリス・ショルティーノの各氏に師事。

【到達目標】
世界的なスタンダードとされる音楽ジャンル、ミュージシャンについての知識を習得し、国内はもとより海外でも通用する知識の習得。また、日本の音楽ビジネスの現状を世界のルーツを研究することで、より深い認識を習得する。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。海外の音楽シーンの現状を把握する
2回目	楽器、機材の遍歴と音楽ジャンルの関係性を知る
3回目	日本の音楽ビジネスの現状をメディアの生産量の動向から探る。
4回目	日本の音楽ビジネスの現状をメディアの生産量の動向から探る。
5回目	50年代　アメリカ　ロックンロールの誕生①ブラックミュージックの状況
6回目	50年代　アメリカ　ロックンロールの誕生②楽器生産の動向
7回目	60年代　モータウン　ブラックミュージックの革命と公民権運動
8回目	60年代　サイケデリックミュージック　ドラッグカルチャーと大型ロックフェス
9回目	70年代　ハードロック、グラムロック　表現手法の多様化
10回目	70年代　ファンクミュージック、ディスコブーム
11回目	70年代　パンクロック　既存の音楽の解体
12回目	80年代　HIPHOPカルチャー　MTV登場によるメディア革命
13回目	海外の音楽　エンターテインメントについて　テクノロジーや最先端のパフォーマンスを探る
14回目	日本の音楽シーンを振り返る　ミリオンヒットについて
15回目	筆記テスト　総括
準備学習時間外学習	
評価方法	1：定期試験10% 2：レポート10% 3：出席率60% 4：授業態度20%
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：音楽史（洋楽編iPad）
配布資料他

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	プロジェクトワーク（project work）	必修選択	必修選択	年次	3	担当教員	井上　直
学科	音楽テクノロジー	授業形態	講義または演習	総時間（単位）	150	開講区分	前期
コース	全コース				10	曜日・時限	月曜3～7限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

コンセプトワークからコンポーズ・アレンジ、ブッキング・レコーディング・ディレクション・マスタリング・パッケージ・納品・コンテンツ作成まで各々が現場に立ち、プロデュースを行う。本授業を通し、グループワークと柔軟性を習得する。近年のクリエイターの活動傾向を鑑みて、楽曲・志向・活動等を具体的且つ視覚的にデザインし、“アピール”するというマインドを習得する。

※実務者経験：株式会社ポニーキャニオン所属　主業務はマニピュレーター＆キーボード、作曲、編曲をはじめ、レコーディングからディレクション、マスタリング、オーサリングまで担当。

【到達目標】

◆コンセプト・プロット・企画書完成、作曲・アレンジに取りかかり、コンテンツ完成までの50%以上が完了。
◆流行のコンテンツサービスをはじめ、音楽・動画配信の定義と仕組み説明ができるようになる。
◆著作物を扱うリテラシーを習得する。
◆本授業通して自身の活動スタイルに合わせたコンテンツを発見する。

授業計画・内容	
1回目	【オリエンテーション】卒業制作のレギュレーションとフローの説明、目標設定発表、グループ決め、スケジュール表を制作する
2回目	【講義】CDのメリットデメリット、配信のメリットデメリット、また情報を発信できるサイトやツール・SNSの紹介・特色を分析出来る
3回目	【コンセプトワーク】アルバムを制作するにあたり、コンセプトを明確に表記した企画書の作成が出来る
4回目	【コンセプトワーク2】企画書、スケジュール表を提出(企画書スケジュールのリテイクあり）企画の通ったグループから作品制作演習を行う
5回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談）スケジュールと制作演習を行う
6回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談）スケジュールと制作演習を行う　※企画書提出〆切
7回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談）スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
8回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談）スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
9回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談）スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
10回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談）スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
11回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談）スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
12回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談）スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
13回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談）スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
14回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談）スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
15回目	【OC(質問事項に対しての講義)】スケジュールと制作演習を行う、現地点での制作楽曲のプレゼンが出来る

準備学習 時間外学習	授業だけではまかないきれないので、時間外の制作がほとんどになると思います。 たくさん曲を制作することになりますので、自分の表現したいイメージを十分に膨らませておいてください。		
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	レポート60%(進捗報告とクオリティチェックで判断） 課題成果40%(クオリティチェック後の次回授業での報告で評価）
受講生への メッセージ	NSMで学んできたこと、経験してきたことの集大成を作り上げる卒業制作プロジェクトです。 音楽的クオリティの追求からアートワーク作成、各々が自身の活動に合うコンテンツ作成までをつくりあげます。 全力を尽くして作品創作に臨みましょう。		

【使用教科書・教材・参考書】

プロットを作成するシーンが多いため、必ず専用のノートと筆記用具を持参。
(シャープペンシルや鉛筆など、消すことが可能なステーショナリー推奨)
必要に応じて保存メディア・個人ストレージを用意

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	プロジェクトワーク（project work）	必修選択	必修選択	年次	3	担当教員	井上　直
学科	音楽テクノロジー	授業形態	講義または演習	総時間（単位）	150	開講区分	前期
コース	全コース				10	曜日・時限	月曜3～7限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

コンセプトワークからコンポーズ・アレンジ、ブッキング・レコーディング・ディレクション・マスタリング・パッケージ・納品・コンテンツ作成まで各々が現場に立ち、プロデュースを行う。本授業を通し、グループワークと柔軟性を習得する。近年のクリエイターの活動傾向を鑑みて、楽曲・志向・活動等を具体的且つ視覚的にデザインし、“アピール”するというマインドを習得する。

※実務者経験：株式会社ポニーキャニオン所属　主業務はマニピュレーター＆キーボード、作曲、編曲をはじめ、レコーディングからディレクション、マスタリング、オーサリングまで担当。

【到達目標】

◆コンセプト・プロット・企画書完成、作曲・アレンジに取りかかり、コンテンツ完成までの50%以上が完了。
◆流行のコンテンツサービスをはじめ、音楽・動画配信の定義と仕組み説明ができるようになる。
◆著作物を扱うリテラシーを習得する。
◆本授業通して自身の活動スタイルに合わせたコンテンツを発見する。

授業計画・内容	
1回目	【コンセプトワーク】アルバム制作のスケジュール確認
2回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
3回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
4回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
5回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
6回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
7回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
8回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
9回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
10回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
11回目	【制作演習】CDアルバム制作スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
12回目	【制作演習】CDアルバム制作スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
13回目	【制作演習】CDアルバム制作スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
14回目	【制作演習】CDアルバム制作スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
15回目	【制作演習】CDアルバム制作、楽曲のプレゼンが出来る

準備学習 時間外学習	授業だけではまかないきれないので、時間外の制作がほとんどになると思います。 たくさん曲を制作することになりますので、自分の表現したいイメージを十分に膨らませておいてください。		
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	レポート60%(進捗報告とクオリティチェックで判断) 課題成果40%(クオリティチェック後の次回授業での報告で評価)
受講生への メッセージ	NSMで学んできたこと、経験してきたことの集大成を作り上げる卒業制作プロジェクトです。 音楽的クオリティの追求からアートワーク作成、各々が自身の活動に合うコンテンツ作成までをつくりあげます。 全力を尽くして作品創作に臨みましょう。		

【使用教科書・教材・参考書】

プロットを作成するシーンが多いため、必ず専用のノートと筆記用具を持参。
(シャープペンシルや鉛筆など、消すことが可能なステーショナリー推奨)
必要に応じて保存メディア・個人ストレージを用意

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ミュージックテクノロジー（music technology）	必修選択	選択必修	年次	1・2年	担当教員	野崎　貴潤
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30	開講区分	後期
コース	全コース				2	曜日・時限	木曜1限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
Logic,GarageBandを使い基本的なDTMの知識、扱い方を学び、打ち込みの技術を身につける。
〈講師プロフィール〉
日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。

【到達目標】
DTMの基本的な操作方法を身につけ、自身の曲のデモバージョンを打ち込めるようになる。

授業計画・内容	
1回目	マイクの種類について理解できる
2回目	色々な種類のマイクを使った録音が出来る
3回目	音質（ビットレート）・圧縮データ/非圧縮データ・バウンスについて理解できる
4回目	オートメーションを書く（strings EQ）拍子・BPMの切り替えが出来る
5回目	自身の曲の曲作り
6回目	自身の曲の歌どりが出来る
7回目	Melodyneを使ったピッチ修正を習得
8回目	Melodyneを使ったピッチ修正を習得
9回目	簡単Mix① 音量と配置を理解出来る
10回目	簡単Mix② CompressorとEQを使う事が出来る
11回目	簡単Mix③ 空間系プラグインを使う事が出来る（reverb他）
12回目	①②③を実際に応用できる
13回目	①②③を実際に応用できる
14回目	これまでの授業の復習、応用
15回目	実技テスト
準備学習 時間外学習	授業の内容が難しいことが多いため、毎回の復習が必要になります。
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 実技テスト（提示された課題に対して正しく打ち込みができるか、また基本操作を習得しているか）
受講生への メッセージ	最近ではDTMを扱えるミュージシャンが増えてきているため、毎回の授業の中で理解度を高め、しっかりと学習をしてください。

【使用教科書・教材・参考書】
楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名 (英)	著作権・業界知識 (Copyright・Music industry knowledge)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	林達也
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	月曜2限

【授業の学習内容】

刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し習得する。音楽業界の基本構造を理解し、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス／カラオケビジネス／レンタルCDなどの基礎も習得する。また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料／印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。☒米国Art Institute of Seattle（ミュージックビジネス専攻）卒業。CD店舗マネージャー、ライブブッキング、アーテイストマネージメント、全米ツアー企画制作など10年以上にわたり米国音楽ビジネスに携わる。城西国際大学メディア学部講師

【到達目標】

音楽業界の基礎／著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル／考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。
著作権を主とした権利マネジメント／ビジネスの概要を習得する。また、現代における著作権の問題点などもあわせて習得する。☒

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション／音楽業界の構造（1）／日本のレコード産業・全体像☒
2回目	音楽業界の構造（2）／日本レコード協会・JASRAC☒
3回目	著作権の基礎（1）概要／構造
4回目	著作権の基礎（2）歴史／現在☒
5回目	アーティストの権利／印税とは
6回目	収入シミュレーション（CD販売）
7回目	収入シミュレーション（ダウンロード／音楽配信）
8回目	日本におけるカラオケの歴史と市場／印税配分☒
9回目	著作権の保護期間／フェアユース／問題点など
10回目	ミュージックビデオ／プロモーションビデオの歴史と成り立ち
11回目	レンタルCD市場の歴史と著作権
12回目	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの基礎（1）
13回目	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの基礎（2）
14回目	音楽の仕事／音楽にまつわる職業の考察
15回目	まとめ／復習／期末課題への取り組み☒
準備学習 時間外学習	教科書などを用いた授業への予習／毎授業で配布される授業資料を復習
評価方法	1. 授業への参加／取り組み 30% 2. 授業内課題 30% 3. 期末レポート 30% 4. 授業態度 10% 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格
受講生への メッセージ	現代において音楽活動や音楽ビジネスに携わっていくには、これまで以上に音楽業界の基本構造や音楽ビジネスの基礎を学んでおく必要があります。また、音楽における権利＝著作権とはなんなのか？どのような利益をもたらすのか？を理解しておくのが必須となってきています。難解な部分もあるかもしれませんが、出来るだけ易しく紐解いていければと考えております。☒ ☒

【使用教科書・教材・参考書】

使用教科書（学校より配布）：よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編／実践編 5th Edition （安藤 和宏）
参考書：18歳の著作権入門 （福井 健策）

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名 (英)	著作権・業界知識 (Copyright・Music industry knowledge)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	林達也
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	月曜2限

【授業の学習内容】

刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し習得する。音楽業界の基本構造を理解し、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス／カラオケビジネス／レンタルCDなどの基礎も習得する。また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料／印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。　※米国Art Institute of Seattle（ミュージックビジネス専攻）卒業。CD店舗マネージャー、ライブブッキング、アーテイストマネージメント、全米ツアー企画制作など10年以上にわたり米国音楽ビジネスに携わる。城西国際大学メディア学部講師

【到達目標】

音楽業界の基礎／著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル／考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。
著作権を主とした権利マネジメント／ビジネスの概要を習得する。また、現代における著作権の問題点などもあわせて習得する。☒

授業計画・内容	
1回目	音楽業界の構造・応用編（1）☒
2回目	音楽産業の構造・応用編（2）☒
3回目	著作権の必須知識／使える著作権
4回目	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの応用（1）☒
5回目	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの応用（2）
6回目	音楽における著作権侵害とは？実例／具体例／判例など（1）
7回目	音楽における著作権侵害とは？実例／具体例／判例など（2）☒
8回目	インターナショナルな音楽活動／世界の音楽ビジネス事情☒
9回目	音楽ビジネスにおける各種契約（1）
10回目	音楽ビジネスにおける各種契約（2）
11回目	音楽ビジネスにおける録音フォーマットの歴史と変遷
12回目	変わりゆく著作権／時代と著作権との関係と問題点
13回目	現在の音楽産業／これから10年後のビジネスモデル
14回目	音楽の仕事／音楽にまつわる職業の考察・応用編
15回目	まとめ／復習／期末課題への取り組み☒
準備学習 時間外学習	教科書などを用いた授業への予習／毎授業で配布される授業資料を復習
評価方法	1. 授業への参加／取り組み 30% 2. 授業内課題 30% 3. 期末レポート 30% 4. 授業態度 10% 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格
受講生へのメッセージ	現代において音楽活動や音楽ビジネスに携わっていくには、これまで以上に音楽業界の基本構造や音楽ビジネスの基礎を学んでおく必要があります。また、音楽における権利＝著作権とはなんなのか？どのような利益をもたらすのか？を理解しておくのが必須となってきています。難解な部分もあるかもしれませんが、出来るだけ易しく紐解いていければと考えております。☒ ☒

【使用教科書・教材・参考書】

使用教科書（学校より配布）：よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編／実践編 5th Edition （安藤 和宏）
参考書：18歳の著作権入門 （福井 健策）

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	IT(information technology)	必修選択	必修	年次	2.3	担当教員	浅井麻衣子
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60	開講区分	前期
コース	全コース				4	曜日・時限	木曜1.2限

【授業の学習内容】

情報へのアクセスが容易になった現在では、様々な端末で通信を行い生活する事が当たり前になってきました。社会に出るとパソコンを駆使して情報をまとめ、更にはプレゼンテーションする能力も求められます。この授業では、Microsoft Office Word, Microsoft Office PowerPointを使用し、基本的な操作を覚えることで、視覚的なフライヤーを作成していきます。また、プレゼンテーションの基礎を覚え、プレゼン資料を作成し、授業内で実際にプレゼンテーションを行います。
※実務者経験:専門学校にてWord,Excel,PowerPoint,ホームページ制作などのITに関係する授業を約15年行う。

【到達目標】
①インターネットの現状を学ぶことで、ITリテラシーを身につける。② Wordの基本操作を覚えることで、簡単な文書作成や図形、イラスト、写真などを使った視覚的な書類の作成(ポスター、フライヤーなど)ができる。③PowerPointの基本操作を覚え、スライド作成の手順を学ぶことで、見やすく説得力のあるスライドを作成し発表することができる。

授業計画・内容	
1回目	ITガイダンス　com portalアカウントを取得し、メールアドレスの設定が完了する。ITリテラシー理解度テストを受け、合格する。
2回目	Word1　基本的な操作を覚え、簡単な文書を作成することができる。
3回目	Word2　基本的な操作を覚え、見栄えの良い簡単な文書を作成することができる。
4回目	Word3　図形、画像などの挿入や操作方法を覚え、視覚的な文書の作成ができる。
5回目	Word4　図形、画像などを使い、視覚的な文書(フライヤー)の作成、印刷ができる。
6回目	PowerPoint1　基本的な操作を覚え、簡単なスライド作成ができる。
7回目	PowerPoint2　基本的な操作を覚え、見栄えの良い簡単なスライド作成ができる。
8回目	PowerPoint3　作成したスライドにアニメーションなどの動きを入れることができる。
9回目	PowerPoint4　作成したスライドに動画を入れることができる。
10回目	PowerPoint5－①　プレゼンテーション課題の発表に向け、スライドを自分で制作することができる。
11回目	PowerPoint5－②　プレゼンテーション課題の発表に向け、スライドを自分で制作することができる。
12回目	PowerPoint5－③　プレゼンテーション課題の発表に向け、スライドを自分で制作することができる。
13回目	PowerPoint5－④　プレゼンテーション課題の発表に向け、スライドを自分で制作することができる。
14回目	PowerPoint6－①　自分で完成させたスライドを使い、プレゼンテーションを行う。
15回目	PowerPoint6－②　自分で完成させたスライドを使い、プレゼンテーションを行う。
準備学習時間外学習	タイピングの練習ができるウェブサイト(e-typingなど)を利用して、タイピング練習を自主的にしておくと、キーボードに慣れ、作業速度も上がります。WordやPowerPointなどの操作をしっかり習得する為には、自主的な講義の復習が必要になります。
評価方法	定期試験50% 課題成果50% 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 Wordで課題として制作するフライヤーを課題成果として、評価を行う。PowerPointで課題として制作するスライド、実際に行うプレゼンテーションを定期試験として評価を行う。
受講生へのメッセージ	パソコンの基本的な操作を身につけ、最終的には自分で完成させたスライドでプレゼンテーションをしていきます。授業を通して、自分の思いを言葉にして伝えることの難しさや楽しさ、自分独自の表現を見つけていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

テキスト:株式会社滋慶出版　COMPUTER　BACIC　WORD　2013・2016
その他:プリントを用意
データ保存用記憶媒体（USBフラッシュメモリ）

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	IT(information technology)	必修選択	必修	年次	2.3	担当教員	浅井麻衣子
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60	開講区分	後期
コース	全コース				4	曜日・時限	木曜1.2限

【授業の学習内容】

社会に出ると、パソコンを使って様々な情報を管理していくことになります。特に「Microsoft」の文書作成ソフトWordと表計算ソフトExcelの基本操作は、仕事をする上では最低限求められるスキルで、どのような企業でも使われています。この授業ではMicrosoft Office Word, Excelを使い、ビジネスに必要な文書作成、表計算の基礎を覚え、基本的な文書作成や表計算ができるようにします。
※実務者経験：専門学校にて、Word, Excel, PowerPoint, ホームページ制作などのITに関係する授業を約15年行う。

【到達目標】

Word：基本操作を覚えることで、簡単で見栄えの良いビジネス文書の作成ができる。
Excel：基本操作や基本関数を覚えることで、計算式の入った表やグラフを作成できる。

授業計画・内容	
1回目	Word1-1　基本的な操作を覚え、ビジネス文書を作成できる。
2回目	Word1-2　基本的な操作を覚え、見栄えの良いビジネス文書を作成できる。
3回目	Word2-1　図形、画像などの挿入や操作方法を覚え、視覚的な書類を作成できる。
4回目	Word2-2　図形、画像などの挿入や操作方法を覚え、視覚的な書類を作成でき、印刷できる。
5回目	Word3-1　表を作成する操作を覚え、表のあるビジネス文書を作成できる。
6回目	Word3-2　表を作成する操作を覚え、表のある見栄えの良いビジネス文書を作成できる。
7回目	Word4　Wordで図形や画像の入った文書を作成することができる。（中間試験）
8回目	Excel1-1　基本的な表を作成することができる。（入力、罫線を引く）
9回目	Excel1-2　基本的な表を作成することができる。（入力、罫線を引く、数式）
10回目	Excel1-3　基本的な表を作成することができる。（入力、罫線を引く、数式、関数を使った計算）
11回目	Excel2-1　棒グラフの作成をすることができる。
12回目	Excel2-2　円グラフの作成をすることができる。
13回目	Excel2-3　複合グラフの作成をすることができ、表とグラフを印刷することができる。
14回目	Excel3　これまで習得した範囲の練習問題を解くことができる。
15回目	Excel4　Excelで表とグラフを作成することができる。（期末試験）
準備学習時間外学習	タイピングの練習ができるウェブサイト(e-typingなど)を利用して、タイピング練習を自主的にしておくと、キーボードに慣れ、作業速度も上がります。WordやExcelなどの操作をしっかり習得する為には、自主的な講義の復習が必要になります。
評価方法	中間試験と期末試験80% タイピング・課題成果20% 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 Word、Excelは中間試験、期末試験で評価を行う。
受講生へのメッセージ	IT後期の授業では、ビジネス文書の作成など実際に社会に出たときに活用できる機能をたくさん学んでいきます。 前期でやった内容をよく理解して、後期の内容に進んでいきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

テキスト：株式会社滋慶出版　COMPUTER　BACIC　WORD　2013・2016
その他：プリントを用意
データ保存用記憶媒体（USBフラッシュメモリ）

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名(英)	プロダクション実務Ⅰ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	池淵雄也
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義・演習	総時間(単位)	30	開講区分	前期
コース	全コース				2	曜日・時限	火曜日2限

【授業の学習内容】
アーティストを売り出すための、マーケティング、プロモーションについて学ぶ。
※コンサートプロモーターの制作実務を行う。

【到達目標】
プロモーションプランを組み立て、実際にイベントを行えるスキルを身につける。

授業計画・内容	
1回目	アンケート実施。生徒の好きな音楽、普段の音楽に関する市場調査実施。
2回目	各自、題材を決め　アーティストをプレゼンテーションする
3回目	各自、題材を決め　アーティストをプレゼンテーションする
4回目	レコード会社のプロモーター基本編　アーティスト資料について学ぶ
5回目	エイベックス創業者について学ぶ（映像視聴）
6回目	秋元康のAKBプロジェクを通じて、プロデュースについて学ぶ
7回目	アーティスト、販促イベント、タイムテーブルの書き方を学ぶ
8回目	アーティスト、販促イベント、タイムテーブルの書き方を学ぶ
9回目	考える力・考える癖を つける基本　自分の意見をもつことの重要性について学ぶ
10回目	考える力・考える癖を つける基本　自分の意見をもつことの重要性について学ぶ
11回目	市場調査　タワーレコード、ヴィレヴァン、HMVなどの店舗を調査する
12回目	市場調査　タワーレコード、ヴィレヴァン、HMVなどの店舗を調査する
13回目	音楽業界の著名人のインタビューを考察し、レポート提出
14回目	テスト
15回目	総括
準備学習時間外学習	
評価方法	授業態度（10%） レポート（10%） 実地試験（80%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名(英)	プロダクション実務Ⅰ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	池淵雄也
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義・演習	総時間(単位)	30	開講区分	後期
コース	全コース				2	曜日・時限	火曜日2限

【授業の学習内容】
アーティストを売り出すための、マーケティング、プロモーションについて学ぶ。
※コンサートプロモーターの制作実務を行う。

【到達目標】
プロモーションプランを組み立て、実際にイベントを行えるスキルを身につける。

授業計画・内容	
1回目	グループディスカッション　「グループに分かれてアーティスト企画書作る」課題定義①
2回目	グループディスカッション　「グループに分かれてアーティスト企画書作る」現状分析
3回目	グループディスカッション　「グループに分かれてアーティスト企画書作る」問題、課題を被り
4回目	グループディスカッション　「グループに分かれてアーティスト企画書作る」問題、課題を被り
5回目	グループディスカッション　「グループに分かれてアーティスト企画書作る」　発表
6回目	グループディスカッション　「グループに分かれてアーティスト企画書作る」　発表
7回目	総括
8回目	グループディスカッション　「グループに分かれてアーティスト企画書作る」課題定義②
9回目	グループディスカッション　「グループに分かれてアーティスト企画書作る」現状分析
10回目	グループディスカッション　「グループに分かれてアーティスト企画書作る」問題、課題を被り
11回目	グループディスカッション　「グループに分かれてアーティスト企画書作る」問題、課題を被り
12回目	グループディスカッション　「グループに分かれてアーティスト企画書作る」　各グループ発表
13回目	グループディスカッション　「グループに分かれてアーティスト企画書作る」　各グループ発表
14回目	テスト
15回目	総括
準備学習 時間外学習	
評価方法	授業態度（10%） レポート（10%） 実地試験（80%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格
受講生への メッセージ	

【使用教科書・教材・参考書

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名(英)	プロダクション実務Ⅱ	必修選択	選択	年次	2	担当教員	田川晴子
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	実習	総時間(単位)	30	開講区分	前期
コース	全コース				2	曜日・時限	水曜／3、4、5限

【授業の学習内容】

Illustrator＆Photoshopの実践的な使用方法を学び、イメージを的確にビジュアル化できる能力を習得。グッズデザインやPOPデザインなど、仕事におけるグラフィックソフトの役割を体感できるような課題をこなし、企画力・構成力を養うとともにデザイン力を身につけるような授業を実施します。

【到達目標】

企画力・構成力・表現力・発想力を養うとともに、頭の中のイメージを的確にビジュアル化できるスキルを身につけ、仕事に活かせる力の習得を目標とします。

授業計画・内容	
1回目	＜スキルチェック＞Illustratorを使用して自己PRチラシを制作。出来上がりデータからスキルチェックします
2回目	＜復習＞前回のスキルチェックから、不足と思われるスキルを補うため再度Illustratorのツールの説明をしま
3回目	＜課題1-1＞ロゴのトレース。ペンツールを使用して曲線や直線の描画、パスの作成
4回目	＜課題1-2＞ロゴのトレース。ペンツールを使用して曲線や直線の描画、パスの作成
5回目	＜課題2-１＞アーティストロゴ制作。手描きラフのチェック＆アドバイスをし正確なラフを作成します
6回目	＜課題2-2＞アーティストロゴ制作。手描きラフのチェック＆アドバイスをし正確なラフを作成します
7回目	＜課題2-3＞アーティストロゴ制作。手描きラフのチェック＆アドバイスをし正確なラフを作成します
8回目	＜課題3-1＞アーティストロゴ制作。Illustratorを使用してデザインデータを制作します
9回目	＜課題3-2＞アーティストロゴ制作。Illustratorを使用してデザインデータを制作します
10回目	＜課題4-1＞アーティストロゴ制作。完成データをチェック＆アドバイスをしブラッシュアップし完成させま
11回目	＜課題4-2＞アーティストロゴ制作。完成データをチェック＆アドバイスをしブラッシュアップし完成させま
12回目	＜課題5-1＞アーティストロゴ制作。Photoshopを使用しグッズなどの画像に合成し実際のイメージを掴みま
13回目	＜課題5-2＞アーティストロゴ制作。Photoshopを使用しグッズなどの画像に合成し実際のイメージを掴みま
14回目	＜テスト①＞前期で学んだスキルを使った制作テストを行い評価します
15回目	＜テスト②＞前期で学んだスキルを使った制作テストを行い評価します
準備学習時間外学習	通学時間やプライベートを有効活用し巷の情報に意識を向けることが必要です。
評価方法	１．定期試験（%） ２．小テスト（%） ３．レポート（%） ４．課題成果（%） ５．実地試験（%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格 出席評価50%＋授業態度評価（聴く、書く、話す、制作する等の取り組み態度）20%＋技術評価（学期末テストの採点結果）30%とする。
受講生へのメッセージ	イメージしたモノがカタチになる面白さを学びましょう。日常生活で目にしているものすべてにヒントがあります。そして疑問を持ちそれについての答えを考えましょう。考えることでアイデアは生まれます。PhotoshopとIllustratorの実践に活かせる基礎知識と想像力・発想力・表現力をを習得しましょう。

【使用教科書・教材・参考書

Illustrator&Photoshopテキスト、ウェブサイト、記憶メディア

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2022年度 シラバス

科目名(英)	プロダクション実務Ⅱ	必修選択	選択	年次	2	担当教員	田川晴子
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	実習	総時間(単位)	30	開講区分	後期
コース	全コース				2	曜日・時限	水曜／3、4、5限

【授業の学習内容】

Illustrator＆Photoshopの実践的な使用方法を学び、イメージを的確にビジュアル化できる能力を習得。グッズデザインやPOPデザインなど、仕事におけるグラフィックソフトの役割を体感できるような課題をこなし、企画力・構成力を養うとともにデザイン力を身につけるような授業を実施します。

【到達目標】

企画力・構成力・表現力・発想力を養うとともに、頭の中のイメージを的確にビジュアル化できるスキルを身につけ、仕事に活かせる力の習得を目標とします。

授業計画・内容	
1回目	＜課題3-1＞Tシャツデザイン。手描きラフ作成で企画力・構成力を養います
2回目	＜課題3-2＞Tシャツデザイン。手描きラフ作成で企画力・構成力を養います
3回目	＜課題3-3＞Tシャツデザイン。手描きラフのチェック＆アドバイスをし正確なラフを作成します
4回目	＜課題3-4＞Tシャツデザイン。手描きラフのチェック＆アドバイスをし正確なラフを作成します
5回目	＜課題3-5＞Tシャツデザイン。Illustratorを使用してデザインデータを制作します
6回目	＜課題3-6＞Tシャツデザイン。Illustratorを使用してデザインデータを制作します
7回目	＜課題4-1＞チラシ広告のデザイン模写。
8回目	＜課題4-2＞チラシ広告のデザイン模写。
9回目	＜課題4-3＞課題で作成したロゴやTシャツ等を使用しイベント告知フライヤー制作。手描きラフのチェック
10回目	＜課題4-4＞課題で作成したロゴやTシャツ等を使用しイベント告知フライヤー制作。手描きラフのチェック
11回目	＜課題4-5＞課題で作成したロゴやTシャツ等を使用しイベント告知フライヤー制作。デザインデータを制作
12回目	＜課題4-6＞課題で作成したロゴやTシャツ等を使用しイベント告知フライヤー制作。デザインデータを制作
13回目	＜課題4-7＞課題で作成したロゴやTシャツ等を使用しイベント告知フライヤー制作。デザインデータを制作
14回目	＜テスト①＞後期で学んだスキルを使った制作テストを行い評価します
15回目	＜テスト②＞後期で学んだスキルを使った制作テストを行い評価します
準備学習時間外学習	通学時間やプライベートを有効活用し巷の情報に意識を向けることが必要です。
評価方法	１．定期試験（%） ２．小テスト（%） ３．レポート（%） ４．課題成果（%） ５．実地試験（%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格 出席評価50%＋授業態度評価（聴く、書く、話す、制作する等の取り組み態度）20%＋技術評価（学期末テストの採点結果）30%とする。
受講生へのメッセージ	イメージしたモノがカタチになる面白さを学びましょう。日常生活で目にしているものすべてにヒントがあります。そして疑問を持ちそれについての答えを考えましょう。考えることでアイデアは生まれます。PhotoshopとIllustratorの実践に活かせる基礎知識と想像力・発想力・表現力をを習得しましょう。

【使用教科書・教材・参考書

Illustrator&Photoshopテキスト、ウェブサイト、記憶メディア

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2022年度 シラバス

科目名(英)	プロダクション実務Ⅲ	必修選択	選択	年次	3	担当教員	石川利江子
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	座学	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	金曜日3限

【授業の学習内容】

ダンス・ミュージカルのイベント制作や運営業務などの実務経験あり。
音楽・舞台業界において基本的な知識をイベントを例に習得する。

【到達目標】

音楽・舞台業界の仕事に携わる上で、マネージャーとしてだけではなく、運営・制作の知識も習得し幅広く活躍できる人材になる。

授業計画・内容	
1回目	自己紹介・音楽業界用語について
2回目	ライブハウス基礎知識 ホール代・楽器知識
3回目	舞台基礎知識 図面の見方
4回目	運営マニュアルについてⅠ
5回目	運営マニュアルについて・各資料の見方II
6回目	タイムスケジュールについて
7回目	楽器知識Ⅰ
8回目	楽器知識II
9回目	各スタッフの仕事について
10回目	制作スケジュールの作成について
11回目	進行台本の作成について
12回目	自主企画イベントを想定　チーム作り・ブレストⅠ
13回目	自主企画イベントを想定　資料作成Ⅱ
14回目	自主企画イベントを想定　資料作成Ⅲ
15回目	自主企画イベントを想定　発表・質疑応答Ⅳ
13回目	自主企画イベントを想定　発表・質疑応答Ⅴ
14回目	テスト
15回目	テスト返却・振り返り
準備学習時間外学習	
評価方法	１．定期試験（%） ２．小テスト（%） ３．レポート（%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

iPad/PC

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名(英)	プロダクション実務Ⅲ	必修選択	選択	年次	3	担当教員	石川利江子
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	座学	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	金曜日・3限

【授業の学習内容】

ダンス・ミュージカルのイベント制作や運営業務などの実務経験あり。
音楽・舞台業界において基本的な知識をイベントを例に習得する。

【到達目標】

Hospital Of Miracleを通じて、ミュージカル公演の運営・制作知識を深めるとともに人間性を養う

授業計画・内容	
1回目	自己紹介・入学式振り返り
2回目	役割分担 ・プロモーションとは
3回目	決起集会 /プロモーション＆動員計画と対象
4回目	プロモーション 進捗報告会・制作スケジュール作成
5回目	学園祭合同MT /HOM プロモーション進捗報告
6回目	学園祭合同MT /HOM プロモーション進捗報告 ・電話掛け・チラシ発送物準備
7回目	HOM プロモーション進捗報告 ・電話掛け・チラシ発送
8回目	セクション別の仕事/ステージ・（進行.楽器.舞台.字幕）フロント（本部.受付.楽屋）作業Ⅰ
9回目	セクション別の仕事/ステージ・（進行.楽器.舞台.字幕）フロント（本部.受付.楽屋）作業Ⅱ
10回目	セクション別の仕事/ステージ・（進行.楽器.舞台.字幕）フロント（本部.受付.楽屋）作業Ⅲ
11回目	セクション別の仕事/ステージ・（進行.楽器.舞台.字幕）フロント（本部.受付.楽屋）作業Ⅳ
12回目	セクション別の仕事/ステージ・（進行.楽器.舞台.字幕）フロント（本部.受付.楽屋）作業Ⅴ
13回目	セクション別の仕事/ステージ・（進行.楽器.舞台.字幕）フロント（本部.受付.楽屋）作業Ⅵ
14回目	セクション別の仕事/ステージ・（進行.楽器.舞台.字幕）フロント（本部.受付.楽屋）作業Ⅶ
15回目	全体 /運営マニュアルに基づき最終確認
13回目	本番
14回目	本番振り返り /テスト
15回目	テスト返却・振り返り

準備学習時間外学習		
評価方法	１．定期試験（%） ２．小テスト（%） ３．レポート（%）	評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ
受講生へのメッセージ		

【使用教科書・教材・参考書】

iPad/PC

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	舞台制作（music production）	必修選択	必須	年次	1	担当教員	佐藤 聖也
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義演習	総時間（単位）	60	開講区分	前期
コース	全コース				4	曜日・時限	水1.・2限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する
イベントの企画・制作業務において、マルチな知識が必要とされる役割となります。概念とは別に実行に移すための
予備知識（工具・部材の取り扱い、PCにおいてのアプロケーション知識、SNS知識・舞台基礎）を中心に実行。
ZeppライブエンターテイメントにてZeppNagoya運営アシスタントポジションにて全国Zepp系列の運営チーフにて在籍。
また芸能プロダクションにも勤め、現場マネジメントとしても活動。

【到達目標】
各知識習得後、イベントの実行・制作として行える引き出しを増やすきっかけにする。
また自分の特技とするものを作るきっかけにする。

授業計画・内容	
1回目	1限 コミュニケーションスキルアップ/文章構成・マーケティング（JFN学生ラジオCMコンテスト）①
2回目	文章構成・マーケティング（JFN学生ラジオCMコンテスト）②/ミュージカル制作について
3回目	尺貫法・舞台大道具について①/プロモーター会社運営について
4回目	ドラムの組み方/電源知識①/チラシコーディネート
5回目	道具の種類・使い方について
6回目	チラシ・ポスター制作基礎知識①/カラーコーディネート知識
7回目	音源データ作成知識（Garageband etc）①
8回目	台本の読み取り方・メモの取り方・活用方法
9回目	iMovie作成/SNSプロモーション戦略について①（Twitter・Youtubeなど）
10回目	iMovie作成/SNSプロモーション戦略について②補足：データフォーマットに関して
11回目	機材端子/電源について②
12回目	楽器基礎知識について/電源について②
13回目	舞台制作①/道具についておさらい
14回目	舞台制作②/道具についておさらい
15回目	照明予備知識について①
準備学習時間外学習	常に身の回りにあるライフやデザインの構図や構成を考える癖をつけ、授業時の発想に活かすことができるようにする。
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（20%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（70%） 5. 実地試験（10%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生へのメッセージ	答えが1つとする用語があれば、答えが複数という発想に繋がるものがあります。たくさんの引き出しを身につけ、臨機応変に対応できる人材を目指してください。

【使用教科書・教材・参考書】
ipad・舞台大道具・楽器・iMac etc

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	舞台制作（music production）	必修選択	必須	年次	1	担当教員	佐藤 聖也
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義演習	総時間（単位）	60	開講区分	後期
コース	全コース				4	曜日・時限	木曜日・1～2限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する
イベントの企画・制作業務において、マルチな知識が必要とされる役割となります。概念とは別に実行に移すための
予備知識（工具・部材の取り扱い、PCにおいてのアプロケーション知識、SNS知識・舞台基礎）を中心に実行。

【到達目標】
各知識習得後、イベントの実行・制作として行える引き出しを増やすきっかけにする。
また自分の特技とするものを作るきっかけにする。

授業計画・内容	
1回目	タイムスケジュール・進行表作成①
2回目	タイムスケジュール・進行表作成②
3回目	尺貫法・舞台大道具について②
4回目	HP制作技術講座①
5回目	HP制作技術講座②
6回目	チラシ・ポスター制作基礎知識②
7回目	音源データ作成知識（Garageband etc）③
8回目	音源データ作成知識（Garageband etc）④
9回目	iMovie作成/SNSプロモーション戦略について③（Twitter・Youtubeなど）
10回目	iMovie作成/SNSプロモーション戦略について④補足：データフォーマットに関して復習
11回目	大道具舞台組み実習①
12回目	大道具舞台組み実習②
13回目	野外設営知識①
14回目	舞台制作②/道具についておさらい
15回目	照明予備知識について②
準備学習時間外学習	課題提出あり
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（20%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（70%） 5. 実地試験（10%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】
ipad・舞台大道具・楽器・iMac etc

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	マネジメントⅠ（Management Ⅰ）	必修選択	必須	年次	1	担当教員	藤村 典子
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義	総時間（単位）	60	開講区分	前期
コース	全コース				4	曜日・時限	火曜、3・4限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する

音楽産業の基本構造を理解し、権利ビジネスの重要性、お金の流れを説明できるようになる。

※実務経験：2001年4月～2012年4月まで総合エンターテインメント企業の音楽マネージメント部門に所属。2012年5月よりインディペンデントレーベルにて、A&R、マネージメント、イベント制作、マーチャンダイジング事業に従事。

【到達目標】
プロダクションの仕組みを把握し、音楽産業の基本構造を理解する。
・原盤印税と著作権印税の計算方法を習得する
・音源制作における収入、支出を理解し、予算を立てられる
・コンサート事業の収入、支出を理解し、予算を立てられる

授業計画・内容	
1回目	音楽業界の仕組みを説明できる
2回目	音楽産業の基本構造を説明できる
3回目	コンサートの現場で使用される舞台用語を習得する①
4回目	コンサートの現場で使用される舞台用語を習得する②
5回目	レコード会社の役割を説明できる①
6回目	レコード会社の役割を説明できる②
7回目	テレビ放送におけるネットワークを説明できる
8回目	ストリーミングサービスが音楽市場に及ぼす影響と、予想される市場の変化を説明できる①
9回目	ストリーミングサービスが音楽市場に及ぼす影響と、予想される市場の変化を説明できる②
10回目	チケット不正転売禁止法施行と今後の課題を説明できる
11回目	セッティング図の書き方を習得する
12回目	回線表の書き方を習得する
13回目	原盤印税と著作権印税の計算方法を習得する
14回目	舞台制作②/道具についておさらい
15回目	筆記試験にて到達目標の達成率を確認する
準備学習時間外学習	音楽業界総合サイト『ミュージックマン』などで流行や動向をチェックしておく。
評価方法	1. 定期試験（50%） 2. 出席率、授業態度（50%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生へのメッセージ	技術革新を起因としてマーケットが劇的に変化し、音楽業界もその影響を十分に受けています。 今後の音楽業界では、目まぐるしい変化の中で、既存の概念にとらわれず、先見性をもって仕掛けていけるような、 把握力と発想力のある人材が求められます。そのためにはまず音楽を”産業”として、”ビジネス”として捉え、権利やお金に強くなってください。

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	マネジメントⅡ（Management Ⅱ）	必修選択	必須	年次	2	担当教員	藤村 典子
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義	総時間（単位）	60	開講区分	後期
コース	全コース				4	曜日・時限	火曜、1・2限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する

最新の音楽市場を把握し、新たな仕掛けを作れる発想力を身に付ける。

※実務経験：2001年4月～2012年4月まで総合エンターテインメント企業の音楽マネージメント部門に所属。2012年5月よりインディペンデントレーベルにて、A&R、マネージメント、イベント制作、マーチャンダイジング事業に従事。

【到達目標】
・コンサートプロモーションの方法を習得する
・音楽市場の変化に合わせたプロモーション方法を習得する

授業計画・内容	
1回目	地方におけるコンサートプロモーターの役割と実例を説明できる（北海道編）
2回目	地方におけるコンサートプロモーターの役割と実例を説明できる（東北編）
3回目	地方におけるコンサートプロモーターの役割と実例を説明できる（北陸・甲信越、中部編）
4回目	地方におけるコンサートプロモーターの役割と実例を説明できる（中四国、九州編）
5回目	地方におけるコンサートプロモーターの役割と実例を説明できる（関西編）
6回目	地方におけるコンサートプロモーターの役割と実例を説明できる（関東編）
7回目	最新の音楽市場の動向を説明できる①
8回目	最新の音楽市場の動向を説明できる②
9回目	チケット不正転売禁止法施行と今後の課題を説明できる①
10回目	チケット不正転売禁止法施行と今後の課題を説明できる②
11回目	音楽業界におけるコンプライアンスを習得する①
12回目	音楽業界におけるコンプライアンスを習得する②
13回目	音楽市場の変化に合わせたプロモーションの成功事例をもとにプロモーション方法を習得する①
14回目	舞台制作②/道具についておさらい
15回目	筆記試験にて到達目標の達成率を確認する

準備学習時間外学習	各交通機関や遠方に出向いた際の各地の(宿泊先・食事関係・交通費)相場を確認しておく。 ライブ会場に出向いた際に、各スタッフの仕事内容を把握しておく。		
評価方法	1. 定期試験（50%） 2. 出席率、授業態度（50%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	
受講生へのメッセージ	技術革新を起因としてマーケットが劇的に変化し、音楽業界もその影響を十分に受けています。 今後の音楽業界では、目まぐるしい変化の中で、既存の概念にとらわれず、先見性をもって仕掛けていけるような、 把握力と発想力のある人材が求められます。そのためにはまず音楽を”産業”として、”ビジネス”として捉え、権利やお金に強くなってください。		

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	舞台制作（music production）	必修選択	必須	年次	3	担当教員	林達也
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義	総時間（単位）	60	開講区分	前期
コース	全コース				4	曜日・時限	月曜日3・4限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する
刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し習得する。音楽業界の基本構造を理解し、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス／カラオケビジネス／レンタルCDなどの基礎も習得する。
また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料／印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。□

【到達目標】
音楽業界の基礎／著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル／考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。
著作権を主とした権利マネジメント／ビジネスの概要を習得する。また、現代における著作権の問題点などもあわせて習得する。□

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション／音楽業界の構造（1）／日本のレコード産業・全体像□
2回目	音楽業界の構造（2）／日本レコード協会・JASRAC□
3回目	著作権の基礎（1）概要／構造
4回目	著作権の基礎（2）歴史／現在□
5回目	アーティストの権利／印税とは
6回目	収入シミュレーション（CD販売）
7回目	収入シミュレーション（ダウンロード／音楽配信）
8回目	日本におけるカラオケの歴史と市場／印税配分□
9回目	著作権の保護期間／フェアユース／問題点など
10回目	ミュージックビデオ／プロモーションビデオの歴史と成り立ち
11回目	レンタルCD市場の歴史と著作権
12回目	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの基礎（1）
13回目	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの基礎（2）
14回目	舞台制作②/道具についておさらい
15回目	まとめ／復習／期末課題への取り組み□
準備学習時間外学習	教科書などを用いた授業への予習／毎授業で配布される授業資料を復習
評価方法	1. 授業への参加／取り組み 30% 2. 授業内課題 30% 3. 期末レポート 30% 4. 授業態度 10% 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生へのメッセージ	現代において音楽活動や音楽ビジネスに携わっていくには、これまで以上に音楽業界の基本構造や音楽ビジネスの基礎を学んでおく必要があります。また、音楽における権利＝著作権とはなんなのか？どのような利益をもたらすのか？を理解しておくのが必須となってきています。難解な部分もあるかもしれませんが、出来るだけ易しく紐解いていければと考えております。□ □

【使用教科書・教材・参考書】

使用教科書（学校より配布）：よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編／実践編 5th Edition（安藤 和宏）
参考書：18歳の著作権入門（福井 健策）

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	メディアプロダクション	必修選択	必修	年次	3	担当教員	井上 すみれ
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			（単位）	2	曜日・時限	火曜 6限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
本科目は、自分自身をメディアプロモーションしていくための技法や戦略を学び、snsを通して世界中へ音楽を発信していく事を目的とします。
また音楽編集、撮影等、様々なスキルを学び発信力を身に着けます。

※実務者経験：名古屋スクールオブミュージック＆ダンス専門学校卒業後、オスカープロモーション音楽部門にて活躍。
現在はsnsを通して様々な音楽を発信している。

【到達目標】
1. セルフプロモーション
2. Sns運用や構造の理解
3. 発信力

授業計画・内容	
1回目	SNSについての理解を深める
2回目	インフルエンサーの分析①
3回目	方向性について、Diagramの作成、自身の分析を行う
4回目	スマートフォン動画制作
5回目	スマートフォン動画制作
6回目	スマートフォン動画制作
7回目	sns投稿の方法、構造の理解を深める
8回目	機材の説明、機材の使用方法を理解する
9回目	簡易REC　各メディアを使用したRECを行う
10回目	簡易REC　各メディアを使用したRECを行う
11回目	簡易REC　各メディアを使用したRECを行う
12回目	簡易REC　各メディアを使用したRECを行う
13回目	MIXダウンの方法を理解し実践する
14回目	卒業制作展
15回目	卒業制作展
準備学習時間外学習	
評価方法	1. 課題成果（50%） 2. 出席率（50%）
受講生へのメッセージ	snsを通して様々な音楽を発信してほしい

【使用教科書・教材・参考書】
筆記用具
iPad　スマートフォン

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	メディアプロダクション	必修選択	必修	年次	3	担当教員	井上　すみれ
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			（単位）	2	曜日・時限	火曜　6限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
本科目は、自分自身をメディアプロモーションしていくための技法や戦略を学び、snsを通して世界中へ音楽を発信していく事を目的とします。
また音楽編集、撮影等、様々なスキルを学び発信力を身に着けます。

※実務者経験：名古屋スクールオブミュージック＆ダンス専門学校卒業後、オスカープロモーション音楽部門にて活躍。
現在はsnsを通して様々な音楽を発信している。

【到達目標】
1. セルフプロモーション
2. Sns運用や構造の理解
3. 発信力

授業計画・内容	
1回目	SNSについての理解を深める
2回目	インフルエンサーの分析②
3回目	方向性について、Diagramの作成、自身の分析を行う
4回目	スマートフォン動画制作
5回目	スマートフォン動画制作
6回目	スマートフォン動画制作
7回目	sns投稿の方法、構造の理解を深める
8回目	機材の説明、機材の使用方法を理解する
9回目	簡易REC　各メディアを使用したRECを行う
10回目	簡易REC　各メディアを使用したRECを行う
11回目	簡易REC　各メディアを使用したRECを行う
12回目	簡易REC　各メディアを使用したRECを行う
13回目	MIXダウンの方法を理解し実践する
14回目	卒業制作展
15回目	卒業制作展
準備学習 時間外学習	
評価方法	1. 課題成果（50%） 2. 出席率（50%）
受講生への メッセージ	snsを通して様々な音楽を発信してほしい

【使用教科書・教材・参考書】
筆記用具
iPad

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	メディアプロダクション	必修選択	必修	年次	3	担当教員	井上 すみれ
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			（単位）	2	曜日・時限	火曜 6限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
本科目は、自分自身をメディアプロモーションしていくための技法や戦略を学び、snsを通して世界中へ音楽を発信していく事を目的とします。
また音楽編集、撮影等、様々なスキルを学び発信力を身に着けます。

※実務者経験：名古屋スクールオブミュージック＆ダンス専門学校卒業後、オスカープロモーション音楽部門にて活躍。
現在はsnsを通して様々な音楽を発信している。

【到達目標】
1. セルフプロモーション
2. Sns運用や構造の理解
3. 発信力

授業計画・内容	
1回目	SNSについての理解を深める
2回目	インフルエンサーの分析③
3回目	方向性について、Diagramの作成、自身の分析を行う
4回目	スマートフォン動画制作
5回目	スマートフォン動画制作
6回目	スマートフォン動画制作
7回目	sns投稿の方法、構造の理解を深める
8回目	機材の説明、機材の使用方法を理解する
9回目	簡易REC　各メディアを使用したRECを行う
10回目	簡易REC　各メディアを使用したRECを行う
11回目	簡易REC　各メディアを使用したRECを行う
12回目	簡易REC　各メディアを使用したRECを行う
13回目	MIXダウンの方法を理解し実践する
14回目	卒業制作展
15回目	卒業制作展
準備学習時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する 3. 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する 4. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 課題成果（50%） 2. 出席率（50%）
受講生へのメッセージ	snsを通して様々な音楽を発信してほしい

【使用教科書・教材・参考書】
筆記用具
iPad

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	メディアプロダクション	必修選択	必修	年次	3	担当教員	井上　すみれ
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			（単位）	2	曜日・時限	火曜　6限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
本科目は、自分自身をメディアプロモーションしていくための技法や戦略を学び、snsを通して世界中へ音楽を発信していく事を目的とします。
また音楽編集、撮影等、様々なスキルを学び発信力を身に着けます。

※実務者経験：名古屋スクールオブミュージック＆ダンス専門学校卒業後、オスカープロモーション音楽部門にて活躍。
現在はsnsを通して様々な音楽を発信している。

【到達目標】
1. セルフプロモーション
2. Sns運用や構造の理解
3. 発信力

授業計画・内容	
1回目	SNSについての理解を深める
2回目	インフルエンサーの分析④
3回目	方向性について、Diagramの作成、自身の分析を行う
4回目	スマートフォン動画制作
5回目	スマートフォン動画制作
6回目	スマートフォン動画制作
7回目	sns投稿の方法、構造の理解を深める
8回目	機材の説明、機材の使用方法を理解する
9回目	簡易REC　各メディアを使用したRECを行う
10回目	簡易REC　各メディアを使用したRECを行う
11回目	簡易REC　各メディアを使用したRECを行う
12回目	簡易REC　各メディアを使用したRECを行う
13回目	MIXダウンの方法を理解し実践する
14回目	卒業制作展
15回目	卒業制作展
準備学習 時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する 3. 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する 4. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 課題成果（50%） 2. 出席率（50%）
受講生へのメッセージ	snsを通して様々な音楽を発信してほしい

【使用教科書・教材・参考書】
筆記用具
iPad

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	メディアプロダクション	必修選択	必修	年次	3	担当教員	井上 すみれ
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	演習	総時間（単位）	30	開講区分	前期
コース	全コース				2	曜日・時限	火曜 6限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
本科目は、自分自身をメディアプロモーションしていくための技法や戦略を学び、snsを通して世界中へ音楽を発信していく事を目的とします。
また音楽編集、撮影等、様々なスキルを学び発信力を身に着けます。

※実務者経験：名古屋スクールオブミュージック＆ダンス専門学校卒業後、オスカープロモーション音楽部門にて活躍。
現在はsnsを通して様々な音楽を発信している。

【到達目標】
1. セルフプロモーション
2. Sns運用や構造の理解
3. 発信力

授業計画・内容	
1回目	SNSについての理解を深める
2回目	インフルエンサーの分析⑤
3回目	方向性について、Diagramの作成、自身の分析を行う
4回目	スマートフォン動画制作
5回目	スマートフォン動画制作
6回目	スマートフォン動画制作
7回目	sns投稿の方法、構造の理解を深める
8回目	機材の説明、機材の使用方法を理解する
9回目	簡易REC　各メディアを使用したRECを行う
10回目	簡易REC　各メディアを使用したRECを行う
11回目	簡易REC　各メディアを使用したRECを行う
12回目	簡易REC　各メディアを使用したRECを行う
13回目	MIXダウンの方法を理解し実践する
14回目	卒業制作展
15回目	卒業制作展
準備学習時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する 3. 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する 4. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 課題成果（50%） 2. 出席率（50%）
受講生へのメッセージ	snsを通して様々な音楽を発信してほしい

【使用教科書・教材・参考書】
筆記用具
iPad

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	メディアプロダクション	必修選択	必修	年次	3	担当教員	井上　すみれ
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			（単位）	2	曜日・時限	火曜　6限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
本科目は、自分自身をメディアプロモーションしていくための技法や戦略を学び、snsを通して世界中へ音楽を発信していく事を目的とします。
また音楽編集、撮影等、様々なスキルを学び発信力を身に着けます。

※実務者経験：名古屋スクールオブミュージック＆ダンス専門学校卒業後、オスカープロモーション音楽部門にて活躍。
現在はsnsを通して様々な音楽を発信している。

【到達目標】
1. セルフプロモーション
2. Sns運用や構造の理解
3. 発信力

授業計画・内容	
1回目	SNSについての理解を深める
2回目	インフルエンサーの分析⑥
3回目	方向性について、Diagramの作成、自身の分析を行う
4回目	スマートフォン動画制作
5回目	スマートフォン動画制作
6回目	スマートフォン動画制作
7回目	sns投稿の方法、構造の理解を深める
8回目	機材の説明、機材の使用方法を理解する
9回目	簡易REC　各メディアを使用したRECを行う
10回目	簡易REC　各メディアを使用したRECを行う
11回目	簡易REC　各メディアを使用したRECを行う
12回目	簡易REC　各メディアを使用したRECを行う
13回目	MIXダウンの方法を理解し実践する
14回目	卒業制作展
15回目	卒業制作展
準備学習 時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する 3. 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する 4. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 課題成果（50%） 2. 出席率（50%）
受講生へのメッセージ	snsを通して様々な音楽を発信してほしい

【使用教科書・教材・参考書】
筆記用具
iPad

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	音楽理論Ⅰ（ musical theory Ⅰ）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	株式会社国際エジュケーションズ
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60	開講区分	前期
コース	全コース				4	曜日・時限	月曜3.4限

【授業の学習内容】
音楽の言語となるもので、音楽コミュニケーションの基本から学び、
楽譜からアレンジまで実践的な要素も習得する。
※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラッシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続ける音楽家たちが担当

【到達目標】
音名を知ることから始め、5線に書かれた楽譜を読めるようにする。
また、メジャースケールや5度圏など、調性についての知識を習得する。

授業計画・内容	
1回目	楽譜の歴史を知る。
2回目	音名を知る。
3回目	音符・休符
4回目	拍子記号
5回目	反復記号
6回目	スコアリーディング及び確認テスト
7回目	メジャースケール
8回目	メジャースケール
9回目	メジャースケール、5度圏、調号
10回目	メジャースケール、5度圏、調号
11回目	記譜法、臨時記号
12回目	記譜法、臨時記号
13回目	テンポ、強弱記号
14回目	スコアリーディング及び期末テスト予習
15回目	期末テスト
準備学習時間外学習	
評価方法	試験80%、出席・授業態度20%
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】
教科書、iPad、授業プリント

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	音楽理論Ⅱ（ musical theory Ⅱ ）	必修選択	必修	年次	2	担当教員	株式会社国際エジュケーションズ
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60	開講区分	後期
コース	全コース				4	曜日・時限	水曜1，2限

【授業の学習内容】
音楽の言語となるもので、音楽コミュニケーションの基本から学び、
楽譜からアレンジまで実践的な要素も習得する。

【到達目標】
マイナースケールや近親調など調性についての知識を習得する。
基本形でのコードがわかる。

授業計画・内容	
1回目	マイナースケールを知る。
2回目	マイナースケール
3回目	近親調
4回目	移調
5回目	奏法の記号
6回目	スコアリーディング及び確認テスト
7回目	コード(トライアド)
8回目	コード(トライアド)
9回目	コード(7thコード)
10回目	コード(7thコード)
11回目	その他のコード
12回目	その他のコード
13回目	スコアリーディング及び期末テスト予習
14回目	期末テスト
15回目	テスト返却、復習
準備学習時間外学習	
評価方法	試験80%、出席・授業態度20%
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】
教科書、iPad、授業プリント

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	専門留学	必修選択	必修選択	年次	3年	担当教員	
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義または演習	総時間（単位）	300	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
姉妹校のザコレクティブスクールオブミュージックおよびエレクトロニックミュージック・コレクティブ（EMC）での3ヶ月から1年間の海外専門留学を通して、現地での専門技術、コミュニケーション技術、国際感覚を身につける。

【到達目標】
姉妹校のザコレクティブスクールオブミュージックおよびエレクトロニックミュージック・コレクティブ（EMC）にて3ヶ月から1年間の海外専門留学。

授業計画・内容	
1回目	専門留学
2回目	専門留学
3回目	専門留学
4回目	専門留学
5回目	専門留学
6回目	専門留学
7回目	専門留学
8回目	専門留学
9回目	専門留学
10回目	専門留学
11回目	専門留学
12回目	専門留学
13回目	専門留学
14回目	専門留学
15回目	専門留学
準備学習時間外学習	毎週の留学制作レポート報告

評価方法			
	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	1. 課題100%
受講生へのメッセージ			

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	アントレプレナー実践	必修選択	必修選択	年次	3年	担当教員	立元 伸幸
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義または演習	総時間（単位）	150	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

専門性を持った学生に対するアイディアの創出やビジネスモデルの構築を中心としたプログラム
を実施することにより、将来の産業構造の変革を起こす意欲を持つようになることを目標にする
※実務者経験
学習院大学文学部卒業後、光井精機株式会社に入職、営業技術職として勤務の傍ら企業のサポートを行いながら新入職者及び社内企業のサポートを行う。

【到達目標】

起業の仕組みを理解し、アントレプレナーに必要となる知識を実践的に学ぶ

授業計画・内容	
1回目	アントレプレナーとは～起業の仕組みと必要なもの～
2回目	「ヒト・モノ・カネ」の3大経営資源を理解する
3回目	なぜ起業するのか「目的」を明確にする
4回目	「ビジョン」と「ターゲット」を絞り込む
5回目	ビジネスモデルを考える～顧客セグメント・提供価値・キーアクティビティ～
6回目	資金調達の方法を知る～国や自治体の融資制度／支援制度～
7回目	資金調達の方法を知る～クラウドファンディングとベンチャー・キャピタル～
8回目	起業方法と手続き
9回目	お金の知識～管理会計の基礎知識～
10回目	お金の知識～決算書の読み方～
11回目	お金の知識～資金計画の立て方（事業計画書の作成）～
12回目	お金の知識～確定申告の手続き～
13回目	筆記試験
14回目	ワークショップ
15回目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	・知識だけではなく、それを実行に移すための理解を定着させるための復習を行う
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 筆記試験　100%
受講生への メッセージ	「ヒト・モノ・カネ」を理解し、マネジメントできる人材に育ってほしい

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ICT (Information and Communication Technology)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	三和 宗久
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30	開講区分	前期
コース	全コース				2	曜日・時限	火曜5,6限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

情報へのアクセスが容易になった現在では、様々な端末で通信を行い生活する事が当たり前になってきました。社会に出るとパソコンを駆使して情報をまとめ、更にはプレゼンテーションする能力も求められます。この授業では、Microsoft Office Word, Microsoft Office PowerPointを使用し、基本的な操作を覚えることで、視覚的なフライヤーを作成していきます。また、プレゼンテーションの基礎を覚え、プレゼン資料を作成し、授業内で実際にプレゼンテーションを行います。

※実務者経験:専門学校にてWord,Excel,PowerPoint,ホームページ制作などのITに関係する授業を約15年行う。

【到達目標】

①インターネットの現状を学ぶことで、ITリテラシーを身につける。② Wordの基本操作を覚えることで、簡単な文書作成や図形、イラスト、写真などを使った視覚的な書類の作成(ポスター、フライヤーなど)ができる。③PowerPointの基本操作を覚え、スライド作成の手順を学ぶことで、見やすく説得力のあるスライドを作成し発表することができる。

授業計画・内容	
1回目	ITガイダンス　com portalアカウントを取得し、メールアドレスの設定が完了する。ITリテラシー理解度テストを受け、合格する。
2回目	Word1　基本的な操作を覚え、簡単な文書を作成することができる。
3回目	Word2　基本的な操作を覚え、見栄えの良い簡単な文書を作成することができる。
4回目	Word3　図形、画像などの挿入や操作方法を覚え、視覚的な文書の作成ができる。
5回目	Word4　図形、画像などを使い、視覚的な文書(フライヤー)の作成、印刷ができる。
6回目	PowerPoint1　基本的な操作を覚え、簡単なスライド作成ができる。
7回目	PowerPoint2　基本的な操作を覚え、見栄えの良い簡単なスライド作成ができる。
8回目	PowerPoint3　作成したスライドにアニメーションなどの動きを入れることができる。
9回目	PowerPoint4　作成したスライドに動画を入れることができる。
10回目	PowerPoint5－①　プレゼンテーション課題の発表に向け、スライドを自分で制作することができる。
11回目	PowerPoint5－②　プレゼンテーション課題の発表に向け、スライドを自分で制作することができる。
12回目	PowerPoint5－③　プレゼンテーション課題の発表に向け、スライドを自分で制作することができる。
13回目	PowerPoint5－④　プレゼンテーション課題の発表に向け、スライドを自分で制作することができる。
14回目	PowerPoint6－①　自分で完成させたスライドを使い、プレゼンテーションを行う。
15回目	PowerPoint6－②　自分で完成させたスライドを使い、プレゼンテーションを行う。
準備学習時間外学習	タイピングの練習ができるウェブサイト(e-typingなど)を利用して、タイピング練習を自主的にしておくと、キーボードに慣れ、作業速度も上がります。WordやPowerPointなどの操作をしっかり習得する為には、自主的な講義の復習が必要になります。
評価方法	定期試験50% 課題成果50% 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 Wordで課題として制作するフライヤーを課題成果として、評価を行う。PowerPointで課題として制作するスライド、実際に行うプレゼンテーションを定期試験として評価を行う。
受講生へのメッセージ	パソコンの基本的な操作を身につけ、最終的には自分で完成させたスライドでプレゼンテーションをしていきます。授業を通して、自分の思いを言葉にして伝えることの難しさや楽しさ、自分独自の表現を見つけていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

テキスト:株式会社滋慶出版　COMPUTER　BACIC　WORD　2013・2016
その他:プリントを用意
データ保存用記憶媒体（USBフラッシュメモリ）

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ICT (Information and Communication Technology)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	三和 宗久
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30	開講区分	後期
コース	全コース				2	曜日・時限	火曜5,6限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

社会に出ると、パソコンを使って様々な情報を管理していくことになります。特に「Microsoft」の文書作成ソフトWordと表計算ソフトExcelの基本操作は、仕事をする上では最低限求められるスキルで、どのような企業でも使われています。この授業ではMicrosoft Office Word, Excelを使い、ビジネスに必要な文書作成、表計算の基礎を覚え、基本的な文書作成や表計算ができるようにします。
※実務者経験：専門学校にて、Word, Excel, PowerPoint, ホームページ制作などのITに関係する授業を約15年行う。

【到達目標】

Word：基本操作を覚えることで、簡単で見栄えの良いビジネス文書の作成ができる。
Excel：基本操作や基本関数を覚えることで、計算式の入った表やグラフを作成できる。

授業計画・内容	
1回目	Word1-1　基本的な操作を覚え、ビジネス文書を作成できる。
2回目	Word1-2　基本的な操作を覚え、見栄えの良いビジネス文書を作成できる。
3回目	Word2-1　図形、画像などの挿入や操作方法を覚え、視覚的な書類を作成できる。
4回目	Word2-2　図形、画像などの挿入や操作方法を覚え、視覚的な書類を作成でき、印刷できる。
5回目	Word3-1　表を作成する操作を覚え、表のあるビジネス文書を作成できる。
6回目	Word3-2　表を作成する操作を覚え、表のある見栄えの良いビジネス文書を作成できる。
7回目	Word4　Wordで図形や画像の入った文書を作成することができる。（中間試験）
8回目	Excel1-1　基本的な表を作成することができる。（入力、罫線を引く）
9回目	Excel1-2　基本的な表を作成することができる。（入力、罫線を引く、数式）
10回目	Excel1-3　基本的な表を作成することができる。（入力、罫線を引く、数式、関数を使った計算）
11回目	Excel2-1　棒グラフの作成をすることができる。
12回目	Excel2-2　円グラフの作成をすることができる。
13回目	Excel2-3　複合グラフの作成をすることができ、表とグラフを印刷することができる。
14回目	Excel3　これまで習得した範囲の練習問題を解くことができる。
15回目	Excel4　Excelで表とグラフを作成することができる。（期末試験）
準備学習時間外学習	タイピングの練習ができるウェブサイト(e-typingなど)を利用して、タイピング練習を自主的にしておくと、キーボードに慣れ、作業速度も上がります。WordやExcelなどの操作をしっかり習得する為には、自主的な講義の復習が必要になります。
評価方法	中間試験と期末試験 80% タイピング・課題成果 20% 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 Word、Excelは中間試験、期末試験で評価を行う。
受講生へのメッセージ	IT後期の授業では、ビジネス文書の作成など実際に社会に出たときに活用できる機能をたくさん学んでいきます。 前期でやった内容をよく理解して、後期の内容に進んでいきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

テキスト：株式会社滋慶出版　COMPUTER　BACIC　WORD　2013・2016
その他：プリントを用意
データ保存用記憶媒体（USBフラッシュメモリ）

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名 (英)	企画制作Ⅰ (Video planning and productionⅠ)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	佐藤　聖也
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60	開講区分	前期
コース	全コース				4	曜日・時限	木曜日　１、２限

【授業の学習内容】

映像の企画・制作業務において、マルチな知識が必要とされる役割となります。概念とは別に実行に移すための
予備知識（ＰＣにおいてのアプロケーション知識、ＳＮＳ知識・舞台基礎）を中心に行う。
※Zepp
Nagoyaでのコンサート業務に携わる。その後、フォーチューンエンターテインメント（芸能プロダクション）、各種イベント制作会社を経て、現NSM職員

【到達目標】

映像制作を行う上で必要な知識・技能の習得を目指す。

授業計画・内容	
1回目	文章構成・マーケティング（JFN学生ラジオCMコンテスト）①
2回目	文章構成・マーケティング（JFN学生ラジオCMコンテスト）②
3回目	尺貫法・舞台大道具について①/プロモーター会社運営について
4回目	ドラムの組み方/電源知識①/チラシコーディネート
5回目	道具の種類・使い方について
6回目	チラシ・ポスター制作基礎知識①/カラーコーディネート知識
7回目	音源データ作成知識（Garageband etc）①
8回目	台本の読み取り方・メモの取り方・活用方法
9回目	iMovie作成/SNSプロモーション戦略について①（Twitter・Youtubeなど）
10回目	iMovie作成/SNSプロモーション戦略について②補足：データフォーマットに関して
11回目	機材端子/電源について②
12回目	楽器基礎知識について/電源について②
13回目	舞台制作①/道具についておさらい
14回目	舞台制作②/道具についておさらい
15回目	照明予備知識について①
準備学習 時間外学習	課題提出あり
評価方法	小テスト（20%） 課題成果（70%） 実地試験（10%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格
受講生への メッセージ	

【使用教科書・教材・参考書

ipad・舞台大道具・楽器・iMac etc

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名 (英)	企画制作Ⅱ (Video planning and productionⅡ)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	佐藤　聖也
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60	開講区分	後期
コース	全コース				4	曜日・時限	木曜日　１、２限

【授業の学習内容】
映像の企画・制作業務において、マルチな知識が必要とされる役割となります。概念とは別に実行に移すための
予備知識（ＰＣにおいてのアプロケーション知識、ＳＮＳ知識・舞台基礎）を中心に行う。
※Zepp
Nagoyaでのコンサート業務に携わる。その後、フォーチューンエンターテインメント（芸能プロダクション）、各種イベント制作会社を経て、現NSM職員

【到達目標】
映像制作を行う上で必要な知識・技能の習得を目指す。

授業計画・内容	
1回目	タイムスケジュール・進行表作成①
2回目	タイムスケジュール・進行表作成②
3回目	尺貫法・舞台大道具について②
4回目	HP制作技術講座①
5回目	HP制作技術講座②
6回目	チラシ・ポスター制作基礎知識②
7回目	音源データ作成知識（Garageband etc）③
8回目	音源データ作成知識（Garageband etc）④
9回目	iMovie作成/SNSプロモーション戦略について③（Twitter・Youtubeなど）
10回目	iMovie作成/SNSプロモーション戦略について④補足：データフォーマットに関して復習
11回目	大道具舞台組み実習①
12回目	大道具舞台組み実習②
13回目	野外設営知識①
14回目	野外設営知識②
15回目	照明予備知識について②
準備学習 時間外学習	課題提出あり
評価方法	小テスト（20%） 課題成果（70%） 実地試験（10%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格
受講生への メッセージ	

【使用教科書・教材・参考書
ipad・舞台大道具・楽器・iMac etc

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名 (英)	映像企画制作Ⅲ (Video planning and production Ⅰ)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	鈴川貴久
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
コース	全コース				2	曜日・時限	金曜　4限

【授業の学習内容】
映像制作に必要なIllustrator&Photoshopの基本的動作、デザインスキルの習得。頭に描いたビジュアルほ画面を通してどれだけ正確にカタチに出来るかを考え、反復練習を繰り返す中で様々なデザインの知識と技術を制作媒体を介して習得します。
※デザイン会社を経てフリーランスとして活動。Web、広告、アミューズ（芸能プロダクション）などのファンクラブ会報などを手掛ける。

【到達目標】
様々なPC環境での適応能力向上とデザイン思考の向上など、イメージの具現化と印刷入稿データスキルの習得を目標とします。

授業計画・内容	
1回目	【Illustrator】ベジェ曲線①　ベジェ曲線から構成されるロゴマーク・キャラクターなどの制作からあらゆるカタチを自由に描くテクニックを演習する。
2回目	【Illustrator】ベジェ曲線②　アンカーポイントとハンドルから導き出す直線美・曲線美についての特徴と問題点、解決策他を実制作から習得する。
3回目	【Illustrator】ベジェ曲線③　ベジェ曲線で表現される図形・アウトライン文字・線など合体・切り抜きなどの効果の組合せから様々な表現技法を演習する。
4回目	【Illustrator&Photoshop】カラー設定　減法混色・加法混色・特色についてどのような特徴と問題点があるのかを実例を基に習得する。
5回目	【Illustrator&Photoshop】トリムマーク　様々な媒体で必要不可欠となるトリムマークの意味と正しいデータの制作方法を様々な媒体データを基にして演習する。
6回目	【Photoshop】画像処理①　色調補正・画像修正について様々な表現方法を演習する。
7回目	【Photoshop】画像処理②　画像の切り抜きについて様々な表現方法を演習する。
8回目	【Photoshop】画像処理③　画像の切り抜きのテクニックと特徴と問題点や解決策など様々な媒体を基に習得する。
9回目	【Illustrator&Photoshop】CDジャケット制作①　1回目～8回目までの理解度を確認しイメージの具現化と段取りがスムーズに出来ているかなどをポイントとして演習します。
10回目	【Illustrator&Photoshop】CDジャケット制作②　イメージを具現化するための素材・効果など、基礎・応用・表現テクニックを考え演習します。
11回目	【Illustrator&Photoshop】CDジャケット制作③　レイアウトのポイント、余白のバランスなどを意識した表現方法を演習する。
12回目	【Illustrator&Photoshop】CDジャケット制作④　ブラッシュアップの重要性と印刷入稿データについて習得する。
13回目	【Illustrator&Photoshop】案内地図制作①　ベジェ曲線と文字の組合せから、用途に合わせたマップ制作の技法を習得する
14回目	【Illustrator&Photoshop】案内地図制作②　情報の優劣を整理し用途に合わせた表示のカタチやテクニックを実習する。
15回目	【Illustrator&Photoshop】案内地図制作③＆評価　線の結び目、交差点、情報、など案内図としての様々な表現方法を様々な媒体を基にして演習し習得する。
準備学習 時間外学習	様々な印刷媒体から情報の優先順位を意識して読み取り、デザインの構成要素（文字・線・図形・色調・素材）から作業段取りをイメージすることが必要です。
評価方法	出席評価50%＋授業態度評価（聴く、書く、話す、制作する等の取り組み態度）10%＋技術評価40%とする。 なお、本授業においての技術評価は「レイアウトの構成力、適正データ制作」とする。
受講生への メッセージ	

【使用教科書・教材・参考書

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名 (英)	映像企画制Ⅳ (Video planning and production Ⅰ)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	鈴川貴久
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
コース	全コース				2	曜日・時限	金曜　4限

【授業の学習内容】
映像制作に必要なIllustrator&Photoshopの基本的動作、デザインスキルの習得。頭に描いたビジュアルほ画面を通してどれだけ正確にカタチに出来るかを考え、反復練習を繰り返す中で様々なデザインの知識と技術を制作媒体を介して習得します。
※デザイン会社を経てフリーランスとして活動。Web、広告、アミューズ（芸能プロダクション）などのファンクラブ会報などを手掛ける。

【到達目標】
様々なPC環境での適応能力向上とデザイン思考の向上など、イメージの具現化と印刷入稿データスキルの習得を目標とします。

授業計画・内容	
1回目	【Illustrator】オペレーション確認。前期で学んだ基本的動作（トリムマーク・書式・ベジェ曲線・様々なデータ書き出しなど）をポイントに演習します。
2回目	【Photoshop】オペレーション確認　一年生時に学んだ基本的動作（色調補正・効果・切り抜き・合成など）をポイントに演習します。
3回目	【Illustrator&Photoshop】ロゴマークの制作①　アーティスト名を題材にオリジナルのロゴを複数案考え制作します。ロゴマークの演習から様々な考え方を習得します。
4回目	【Illustrator&Photoshop】ロゴマークの制作②　ロゴマークの使用シーンを考えモノクロ・カラー・特色でのデータの作り方を演習します。
5回目	【Illustrator&Photoshop】ロゴマークの展開①　制作したロゴマークを使用して様々な媒体のデザイン案を5点決定し、展開を考えたデザイン演習を行います。
6回目	【Illustrator&Photoshop】ロゴマークの展開②　制作したロゴマークを使用して様々な媒体のデザイン案を5点決定し、展開を考えたデザイン演習を行います。
7回目	【Illustrator&Photoshop】ロゴマークの展開③　画面の中のサイズ感ではなく、実サイズでのサイズ感を原寸出力から感覚を持ち、ギャップがどの位感じられるかを演習から習得します。
8回目	【Illustrator&Photoshop】ロゴマークの展開④　ブラッシュアップと様々な媒体への入稿データなどを演習からポイントを習得します。
9回目	人物撮影＆物撮りについてのポイントを様々な実例から構図を習得する。
10回目	紙媒体・ソーシャルメディア媒体でのレイアウトの考え方を習得する。
11回目	【Illustrator&Photoshop】会報誌制作①　Ｂ５×１２ページ　オールカラー　中綴じ製本。各ページの構成要素をどの様に制作するか様々なアーティストからポイントを習得します。
12回目	【Illustrator&Photoshop】会報誌制作②　各ページの構成要素を決め、必要素材、情報等を考えスケジュールを計画し演習します。
13回目	【Illustrator&Photoshop】会報誌制作③　制作素材と情報収集からどのようにすればイメージを具現化出来るかをポイントとして演習します。
14回目	【Illustrator&Photoshop】会報誌制作④　制作素材と情報収集からどのようにすればイメージを具現化出来るかをポイントとして演習します。
15回目	【Illustrator&Photoshop】会報誌制作⑤　イメージの具現化出来るかをポイントとして実習します。制作の具現化においてアナログ要素・デジタル要素の表現についても演習から表現の違いを習得する。
準備学習 時間外学習	様々な印刷媒体から情報の優先順位を意識して読み取り、デザインの構成要素（文字・線・図形・色調・素材）から作業段取りをイメージすることが必要です。
評価方法	出席評価50%＋授業態度評価（聴く、書く、話す、制作する等の取り組み態度）10%＋技術評価40%とする。 なお、本授業においての技術評価は「レイアウトの構成力、適正データ制作」とする。
受講生への メッセージ	

【使用教科書・教材・参考書

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	アントレプレナー実践	必修選択	必修選択	年次	3年	担当教員	立元 伸幸
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義または演習	総時間（単位）	150	開講区分	前期
コース	全コース				10	曜日・時限	土曜日1～5

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
専門性を持った学生に対するアイディアの創出やビジネスモデルの構築を中心としたプログラム
を実施することにより、将来の産業構造の変革を起こす意欲を持つようになることを目標にする
※実務者経験
学習院大学文学部卒業後、光井精機株式会社に入職、営業技術職として勤務の傍ら企業のサポートを行いながら新入職者及び社内企業のサポートを行う。

【到達目標】
起業の仕組みを理解し、アントレプレナーに必要となる知識を実践的に学ぶ

授業計画・内容	
1回目	アントレプレナーとは～起業の仕組みと必要なもの～
2回目	「ヒト・モノ・カネ」の3大経営資源を理解する
3回目	なぜ起業するのか「目的」を明確にする
4回目	「ビジョン」と「ターゲット」を絞り込む
5回目	ビジネスモデルを考える～顧客セグメント・提供価値・キーアクティビティ～
6回目	資金調達の方法を知る～国や自治体の融資制度／支援制度～
7回目	資金調達の方法を知る～クラウドファンディングとベンチャー・キャピタル～
8回目	起業方法と手続き
9回目	お金の知識～管理会計の基礎知識～
10回目	お金の知識～決算書の読み方～
11回目	お金の知識～資金計画の立て方（事業計画書の作成）～
12回目	お金の知識～確定申告の手続き～
13回目	筆記試験
14回目	ワークショップ
15回目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	・知識だけではなく、それを実行に移すための理解を定着させるための復習を行う
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 筆記試験　100%
受講生への メッセージ	「ヒト・モノ・カネ」を理解し、マネジメントできる人材に育ってほしい

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	アントレプレナー実践	必修選択	必修選択	年次	3年	担当教員	立元 伸幸
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義または演習	総時間（単位）	150	開講区分	後期
コース	全コース				10	曜日・時限	

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

専門性を持った学生に対するアイディアの創出やビジネスモデルの構築を中心としたプログラム
を実施することにより、将来の産業構造の変革を起こす意欲を持つようになることを目標にする
※実務者経験
学習院大学文学部卒業後、光井精機株式会社に入職、営業技術職として勤務の傍ら企業のサポートを行いながら新入職者及び社内企業のサポートを行う。

【到達目標】

起業の仕組みを理解し、アントレプレナーに必要となる知識を実践的に学ぶ

授業計画・内容	
1回目	マーケティング①～マーケティングの基本4P～
2回目	マーケティング②～3C分析～
3回目	マーケティング③～マーケティングプロセス（5つのプロセス）～
4回目	マーケティング④～起業家のブランディング～
5回目	ビジネスモデルキャンパスとは
6回目	ビジネスモデルキャンパスを作成する①～3つのプロセスを知る～
7回目	ビジネスモデルキャンパスを作成する②～個人ワーク～
8回目	ビジネスモデルキャンパスを作成する③～個人ワーク～
9回目	ビジネスモデルキャンパスを作成する④～個人ワーク～
10回目	ビジネスモデルキャンパスを作成する⑤～個人ワーク～
11回目	ビジネスモデルキャンパスを作成する⑥～個人ワークのプレゼンテーション～
12回目	ビジネスモデルキャンパスを作成する⑨～3段階の使い方～
13回目	筆記試験と総括
14回目	ワークショップ
15回目	ワークショップ
準備学習時間外学習	・知識だけではなく、それを実行に移すための理解を定着させるための復習を行う
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 筆記試験　50% 課題　50%
受講生へのメッセージ	「ヒト・モノ・カネ」を理解し、マネジメントできる人材に育ってほしい

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名 (英)	映像制作Ⅰ (Video productionⅠ)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	佐藤　聖也
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	150 10	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	木曜日　1～5限

【授業の学習内容】

映像の企画・制作業務において、マルチな知識が必要とされる役割となります。概念とは別に実行に移すための
予備知識（ＰＣにおいてのアプロケーション知識、ＳＮＳ知識・舞台基礎）を中心に行う。
※Zepp Nagoyaでのコンサート業務に携わる。その後、フォーチューンエンターテインメント（芸能プロダクション）、各種イベント制作会社を経て、現NSM職員

【到達目標】

映像制作を行う上で必要な知識・技能の習得を目指す。

授業計画・内容	
1回目	文章構成・マーケティング（JFN学生ラジオCMコンテスト）①
2回目	文章構成・マーケティング（JFN学生ラジオCMコンテスト）②
3回目	尺貫法・舞台大道具について①/プロモーター会社運営について
4回目	ドラムの組み方/電源知識①/チラシコーディネート
5回目	道具の種類・使い方について
6回目	チラシ・ポスター制作基礎知識①/カラーコーディネート知識
7回目	音源データ作成知識（Garageband etc）①
8回目	台本の読み取り方・メモの取り方・活用方法
9回目	iMovie作成/SNSプロモーション戦略について①（Twitter・Youtubeなど）
10回目	iMovie作成/SNSプロモーション戦略について②補足：データフォーマットに関して
11回目	機材端子/電源について②
12回目	楽器基礎知識について/電源について②
13回目	舞台制作①/道具についておさらい
14回目	舞台制作②/道具についておさらい
15回目	照明予備知識について①
準備学習 時間外学習	課題提出あり
評価方法	小テスト（20%） 課題成果（70%） 実地試験（10%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格
受講生への メッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

ipad・舞台大道具・楽器・iMac etc

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名 (英)	映像制作Ⅱ (Video productionⅡ)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	佐藤　聖也
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	150 10	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	木曜日　1～5限

【授業の学習内容】

映像の企画・制作業務において、マルチな知識が必要とされる役割となります。概念とは別に実行に移すための予備知識（ＰＣにおいてのアプロケーション知識、ＳＮＳ知識・舞台基礎）を中心に行う。

※Zepp Nagoyaでのコンサート業務に携わる。その後、フォーチューンエンターテインメント（芸能プロダクション）、各種イベント制作会社を経て、現NSM職員

【到達目標】

映像制作を行う上で必要な知識・技能の習得を目指す。

授業計画・内容	
1回目	タイムスケジュール・進行表作成①
2回目	タイムスケジュール・進行表作成②
3回目	尺貫法・舞台大道具について②
4回目	HP制作技術講座①
5回目	HP制作技術講座②
6回目	チラシ・ポスター制作基礎知識②
7回目	音源データ作成知識（Garageband etc）③
8回目	音源データ作成知識（Garageband etc）④
9回目	iMovie作成/SNSプロモーション戦略について③（Twitter・Youtubeなど）
10回目	iMovie作成/SNSプロモーション戦略について④補足：データフォーマットに関して復習
11回目	大道具舞台組み実習①
12回目	大道具舞台組み実習②
13回目	野外設営知識①
14回目	野外設営知識②
15回目	照明予備知識について②
準備学習 時間外学習	課題提出あり
評価方法	小テスト（20%） 課題成果（70%） 実地試験（10%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格
受講生への メッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

ipad・舞台大道具・楽器・iMac etc

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	イヤートレーニング（Ear Training）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	株式会社国際エジュケーションズ
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60	開講区分	前期
コース	全コース				4	曜日・時限	月曜1・2限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
作曲に必要なリズム音程の聞き取りを習得する。
音を聞き分けたり、音程感やリズム感を養うものとして、
身の回りの音から創造力を習得する。
※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラッシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続ける音楽家たちが担当

【到達目標】
音を聞き取り、楽譜を正確に書ける。

授業計画・内容	
1回目	3、4拍子のビート感覚がわかる。2度の音程が歌える、聴き取れる。
2回目	全音、半音の違い、8分音符、C～Eの音を聴き取れる。
3回目	M.mの意味が理解できる。1、8度を聴き取れる。歌える。
4回目	短いフレーズを覚えて楽譜にできる。異名同音の存在が理解できる。M.mの音程が歌える、聴ける。
5回目	簡単な楽譜を見て音を想像できる。
6回目	確認テスト
7回目	4分休符、8分休符をビートの中で感じられる。
8回目	4分休符、8分休符をビートの中で感じられる。
9回目	順次進行でC～Gまでの音を聴き分け記譜できる。
10回目	順次進行でC～Gまでの音を聴き分け記譜できる。
11回目	16ビート上で正確に叩ける。
12回目	16ビート上で正確に叩ける。
13回目	メジャーコード、マイナーコードを歌える、聴き取れる。
14回目	テスト対策週
15回目	テスト
準備学習時間外学習	
評価方法	試験80%、出席・授業態度20% 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】
教科書、iPad、授業プリント

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	イヤートレーニング（Ear Training）	必修選択	必修	年次	2	担当教員	株式会社国際エジュケーションズ
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60	開講区分	後期
コース	全コース				4	曜日・時限	月曜1・2限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
作曲に必要なリズム音程の聞き取りを習得する。
音を聞き分けたり、音程感やリズム感を養うものとして、
身の回りの音から創造力を習得する。
※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラッシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続ける音楽家たちが担当

【到達目標】
音を聞き取り、楽譜を正確に書ける。

授業計画・内容	
1回目	マイナースケールを感じて歌うことができる。
2回目	コードの聴き分けができる。
3回目	臨時記号が入ったメロディーを聴いて記譜できる。
4回目	タイが入ったメロディーを聴いて記譜できる。
5回目	テスト対策(まとめ)
6回目	確認テスト
7回目	Fclefの音を聴き記譜できる。
8回目	Fclefの音を聴き記譜できる。
9回目	リズムの入ったメロディーを聴いて記譜できる。
10回目	リズムの入ったメロディーを聴いて記譜できる。
11回目	2声のメロディーを聴き分けることができる。
12回目	2声のメロディーを聴き分けることができる。
13回目	テスト対策(まとめ)
14回目	テスト
15回目	テスト返却　復習
準備学習 時間外学習	
評価方法	試験80%、出席・授業態度20% 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】
教科書、iPad、授業プリント

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名(英)	インストルメンツ(instruments)	必修選択	選択必修	年次	1年	担当教員	野崎　貴潤
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義・演習	総時間(単位)	60	開講区分	前期
コース	全コース				4	曜日・時限	木曜1.2限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

Logic,GarageBandを使い基本的なDTMの知識、扱い方を学び、打ち込みの技術を身につける。

〈講師プロフィール〉

日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。

【到達目標】

DTMの基本的な操作方法を身につけ、自身の曲のデモバージョンを打ち込めるようになる。

授業計画・内容	
1回目	授業内容説明、１学年の復習
2回目	色々な楽曲の分析①コード進行、メロディを理解出来る
3回目	色々な楽曲の分析②コード進行、メロディを理解出来る
4回目	色々な楽曲の分析③アレンジが出来る
5回目	色々な楽曲の分析④アレンジが出来る
6回目	色々な楽曲の分析⑤アレンジが出来る
7回目	色々な楽曲の分析⑥歌詞を理解出来る
8回目	色々な楽曲の分析⑦歌詞を理解出来る
9回目	楽曲の制作①Logicを使用できる
10回目	楽曲の制作②Logicを使用できる
11回目	楽曲の制作③Logicを使用できる
12回目	楽曲の制作④Logicを使用できる
13回目	自分たちが作った楽曲の発表、分析
14回目	前期の授業の復習
15回目	実技テスト
準備学習時間外学習	授業の内容が難しいことが多いため、毎回の復習が必要になります。
評価方法	１．定期試験（%） ２．小テスト（%） ３．レポート（%） ４．課題成果（%） ５．実地試験（%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格 実技テスト（提示された課題に沿って楽曲制作ができるか）
受講生へのメッセージ	最近ではDTMを扱えるミュージシャンが増えてきているため、毎回の授業の中で理解度を高め、しっかりと学習をしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	インターンシップ	必修選択	必修選択	年次	3年	担当教員	日比野賢司
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義または演習	総時間（単位）	300	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
業界の一員として、実務を経験する。社会人基礎力を身に着ける。
研修日誌記入を通して、実務報告をする。
※実務者経験：名古屋コミュニケーションアート専門学校卒業。大手楽器メーカードラム講師、自身のバンド活動やサポートミュージシャンとして活躍、2015年CDデビュー。現在名古屋スクールオブミュージック＆ダンス専門学校にてヴォーカル、楽器、クリエーターを担当。

【到達目標】
現場での実務を通して、職業人としての身構え・気構え・心構えを習得する。

授業計画・内容	
1回目	研修ガイダンス（研修届、研修日誌の記入について）
2回目	履歴書の記入
3回目	面接練習
4回目	職場でのマナー、報告連絡相談
5回目	業界研修1
6回目	業界研修2
7回目	業界研修3
8回目	業界研修4
9回目	業界研修5
10回目	業界研修6
11回目	業界研修7
12回目	業界研修8
13回目	業界研修9
14回目	業界研修10
15回目	振り返り・レポート提出
準備学習 時間外学習	ビジネスマナーの予習、研修日誌を記入し業務態度を振り返る
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 実技課題100%
受講生への メッセージ	正しいビジネスマナーを学び、人とのコミュニケーションを楽しみながら学んでほしい。

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ダンス&ヴォーカル（Dance&Vocal）	必修選択	必修選択	年次	3	担当教員	西野　恭平
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	演習	総時間（単位）	60	開講区分	前期
コース	全コース				4	曜日・時限	金曜日2.3限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
ダンスヴォーカルとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても習得する。＊実務経験(Dance & Vocal):WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り2019年ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催、2019年9月NY Apollo Theater Amateur Night Audition 合格、2018/9/10 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、名古屋市民会館　EX SHOW2017出演（2018年4月～NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師を行なっている。）

【到達目標】
ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上することができる。

授業計画・内容	
1回目	2年次の個人目標設定を行い意識を高めることができる
2回目	腹式呼吸が自分で理解し出来るようになる
3回目	ステージでのマイクテクニックのレパートリーを増やしパフォーマンスができるようになる
4回目	パフォーマンスに緩急を付けることができるようになる
5回目	簡単な動きをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
6回目	1年次よりレベルをあげたステップをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
7回目	パフォーマンスに緩急を付けることができるようになる
8回目	振り付けに合わせて、どんな歌唱パフォーマンスがあるか検証し、歌唱パフォーマンスができるようになる
9回目	自分で振り付け、ステージパフォーマンスを考えることができる
10回目	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを行うことができる
11回目	事前に選択した曲1コーラスヴォーカルパフォーマンスができるようになる
12回目	歌唱パフォーマンスのクオリティを高めることができるようになる
13回目	自分の振り付け、歌唱パフォーマンスを見直し、クオリティーの高いパフォーマンスができるようになる
14回目	事前に選択した曲を1コーラスヴォーカルパフォーマンスをし、課題を見つけることができる
15回目	テストを実施し自分のスキルを知ることができる
準備学習 時間外学習	※授業の注意事項 ・パフォーマンスを行いたい曲を事前に決めて歌詞を暗記して来ること。 ・歌詞をノートに書いて持って来ること。
評価方法	1. 出席・授業態度（40%） 2. 実地試験（60%）
受講生への メッセージ	歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせてください。一緒に頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
iPad(カラオケ音源）
ワイヤレスマイク
ダミーマイク

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ダンス&ヴォーカル（Dance&Vocal）	必修選択	必修選択	年次	3	担当教員	西野　恭平
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	演習	総時間（単位）	60	開講区分	後期
コース	全コース				4	曜日・時限	金曜日2.3限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
ダンスヴォーカルとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても習得する。＊実務経験(Dance & Vocal):WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り2019年ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催、2019年9月NY Apollo Theater Amateur Night Audition 合格、2018/9/10 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、名古屋市民会館　EX SHOW2017出演（2018年4月～NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師を行なっている。）

【到達目標】
ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上することができる。

授業計画・内容	
1回目	卒業まで、卒業後の個人目標設定を行い意識を高めることができる
2回目	腹式呼吸が出来るようになる
3回目	ステージでのマイクテクニックを知ることができる
4回目	パフォーマンスに緩急を付けられるようになる1(アイソレーション、ヒット、ウォークアウト)
5回目	簡単な動きをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
6回目	簡単なステップをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
7回目	昨今のミュージックシーンに、多大な影響を与えているダンスジャンルPOPPINGの基礎を身につけることができる
8回目	アイソレーション、ポップ、サイドスライドを身につけ、歌唱パフォーマンスが出来るようになる
9回目	ストレッチ、振り付け8X4を身につけ、歌唱パフォーマンスが出来るようになる
10回目	ストレッチ、セルフプロデュースパフォーマンスを作り上げるヴォーカルが引き立つ演出を中心に制作することができる
11回目	ストレッチ、セルフプロデュースパフォーマンスを作り上げスキルアップをすることができる
12回目	服装、角度、ポーズ、パフォーマンスを様々なバリエーションでパフォーマンスが出来るようになる
13回目	改善点を見つけ、どのようにすると良くなるか反復練習し、クオリティの高い歌唱パフォーマンスが出来るようになる
14回目	事前に選択した曲を1コーラスヴォーカルパフォーマンスをし、課題を見つけることができる
15回目	テストを実施し自分のスキルを知ることができる
準備学習 時間外学習	※授業の注意事項 ・パフォーマンスを行いたい曲を事前に決めて歌詞を暗記して来ること。 ・歌詞をノートに書いて持って来ること。
評価方法	1. 出席・授業態度（40%） 2. 実地試験（60%）
受講生への メッセージ	歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせてください。一緒に頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
iPad(カラオケ音源）
ワイヤレスマイク
ダミーマイク

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	発声・滑舌（ vocalization＆articulation ）	必修選択	選択	年次	3	担当教員	山口　あきら
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	全コース			（単位）	4	曜日・時限	月曜日1.2限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
ストレッチ、体力作り、ウラ声・オモテ声による発声練習。滑舌練習。インプロゲーム、シアターゲーム、息の体操などを反復して習得する。
※実務者経験：桐朋学園短期大学演劇科を経て、劇団青年座に所属。俳優、演出家として幅広く活動を行っている。青年座の舞台をはじめ数多くの作品に出演。また、青年座や、東映アカデミー、朝日カルチャー、読売・日本文化テレビカルチャー、NSMや姉妹校でも講師を務め、学生からも業界の大先輩として熱い評価を受けている。その他、高校演劇県大会審査員や、和太鼓の作曲・演奏・指導など幅広く活動している。

【到達目標】
目標①自分がイメージした声、滑舌が出来るようになる。腹式呼吸が出来るようになる。
目標②相手に声が届くようになる。

授業計画・内容	
1回目	講義／発声（メカニズム）について。腹式呼吸のやり方、呼吸の体操の方法を習得する
2回目	演習／ストレッチ・呼吸の体操。表現に必要な声を出すことが出来るようになる
3回目	演習／ストレッチ・体力作り、発声（イエアオウ）が出来るようになる
4回目	演習／ストレッチ・発声（ウラ声・オモテ声）が出来るようになる
5回目	演習／ストレッチ・発声・ストレッチリーダーを決める
6回目	演習／ストレッチ（リーダーによる）発声・滑舌（外朗売）が出来るようになる
7回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる①
8回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる②
9回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる③
10回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる④
11回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑤
12回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑥
13回目	演習／ストレッチ・発声・テスト課題の確認を行う
14回目	演習／テスト（外郎売り）を行う
15回目	演習／ストレッチ・発声・テストの反省会
準備学習 時間外学習	呼吸の体操・滑舌練習。 外郎売を覚える。
評価方法	①授業での学習成果（50%） ②テスト（50%）
受講生へのメッセージ	基本の授業です。あせらず、毎日の繰り返し（反復）が大事です。 演技をするための準備を（身体・声）しっかり学ぶこと。

【使用教科書・教材・参考書】
日本語の発音記号
ipad教材（ストレッチのやり方）

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	発声・滑舌（ vocalization＆articulation ）	必修選択	選択	年次	3	担当教員	山口　あきら
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義演習	総時間	60	開講区分	後期
コース	全コース			（単位）	4	曜日・時限	月曜日1.2限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
ストレッチ、体力作り、ウラ声・オモテ声による発声練習。滑舌練習。インプロゲーム、シアターゲーム、息の体操などを反復して習得する。
※実務者経験：桐朋学園短期大学演劇科を経て、劇団青年座に所属。俳優、演出家として幅広く活動を行っている。青年座の舞台をはじめ数多くの作品に出演。また、青年座や、東映アカデミー、朝日カルチャー、読売・日本文化テレビカルチャー、NSMや姉妹校でも講師を務め、学生からも業界の大先輩として熱い評価を受けている。その他、高校演劇県大会審査員や、和太鼓の作曲・演奏・指導など幅広く活動している。

【到達目標】
目標①自分がイメージした声、滑舌が出来るようになる。腹式呼吸が出来るようになる。
目標②相手に声が届くようになる。

授業計画・内容	
1回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる①
2回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる②
3回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる③
4回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる④
5回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑤
6回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑥
7回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑦
8回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑧
9回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑨
10回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑩
11回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑪
12回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑫
13回目	演習／ストレッチ・発声・テスト課題の確認を行う
14回目	演習／テスト（戯曲セリフを抜粋）を行う
15回目	演習／ストレッチ・発声・テストの反省会
準備学習 時間外学習	呼吸の体操・滑舌練習。 セリフを覚える。
評価方法	①授業での学習成果（50%） ②テスト（50%）
受講生へのメッセージ	基本の授業です。あせらず、毎日の繰り返し（反復）が大事です。 演技をするための準備を（身体・声）しっかり学ぶこと。

【使用教科書・教材・参考書】
日本語の発音記号
ipad教材（ストレッチのやり方）

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	コンピューターミュージックⅠ（computer music Ⅰ）	必修選択	必修選択	年次	1年	担当教員	野崎　貴潤
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60	開講区分	前期
コース	全コース				4	曜日・時限	木曜3.4限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
様々なジャンルのアレンジスタイル（楽器構成、フレージング）をMIDI プログラミングの実習を通して学ぶ。Basic アレンジ（リズム、ベース、メインのコード楽器）の重要性を理解し、フレーズの組み立て音のバランス感覚を身に付ける。
〈講師プロフィール〉日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。

【到達目標】
楽曲コンペ、企業課題採用レベルのアレンジスキル、MIDIプログラミングスキル習得。

授業計画・内容	
1回目	R&B編 1、Basicアレンジ プログラミング演習
2回目	R&B編 1、上モノアレンジ Track完成／R&B編 2、Basicアレンジ プログラミング演習
3回目	R&B編 2、上モノアレンジ Track完成
4回目	R&B編 3、Basicアレンジ プログラミング演習
5回目	R&B編 3、上モノアレンジ Track完成／R&B編 4、Basicアレンジ プログラミング演習
6回目	R&B編 4、上モノアレンジ Track完成
7回目	実践編 1、Vo素材に対してのアレンジワーク演習（R&B編を踏まえて）
8回目	4つ打ちBeat編 1、Basicアレンジ プログラミング演習
9回目	4つ打ちBeat編 1、上モノアレンジ Track完成／4つ打ちBeat編 2、Basicアレンジ プログラミング演習
10回目	4つ打ちBeat編 2、上モノアレンジ Track完成
11回目	4つ打ちBeat編 3、Basic＆上モノアレンジ Track完成
12回目	4つ打ちBeat編 4、Basic＆上モノアレンジ Track完成
13回目	実践編 2、Vo素材に対してのアレンジワーク演習（4つ打ちBeat編を踏まえて）
14回目	ワークショップ
15回目	ワークショップ

準備学習 時間外学習	様々なジャンルの曲を好き嫌いなく、楽器編成、配置、セクション別の変化の付け方等、アレンジに注目して聞き込む。自曲のMIDIプログラミングを面倒臭がらずにキッチリと行う。		
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	課題　100%
受講生への メッセージ	頭に描いた曲のイメージを具現化する為に必要不可欠なスキルです。楽曲制作の本当の楽しさを知りたければ、真剣に取り組んで下さい。		

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	コンピューターミュージックⅡ（computer musicⅡ）	必修選択	必修選択	年次	1年	担当教員	野崎　貴潤
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60	開講区分	後期
コース	全コース				4	曜日・時限	木曜3.4限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
様々なジャンルのアレンジスタイル（楽器構成、フレージング）をMIDI プログラミングの実習を通して学ぶ。Basic アレンジ（リズム、ベース、メインのコード楽器）の重要性を理解し、フレーズの組み立て音のバランス感覚を身に付ける。
〈講師プロフィール〉日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。

【到達目標】
楽曲コンペ、企業課題採用レベルのアレンジスキル、MIDIプログラミングスキル習得。

授業計画・内容	
1回目	Basicアレンジ演習
2回目	Funky Groove 1 Track 完成/Basicアレンジ演習
3回目	Funky Groove 2 Track 完成
4回目	Basicアレンジ演習
5回目	Funky Groove 3 Track 完成/Vo素材に対してのアレンジワーク
6回目	Vo素材に対してのアレンジワーク（Funky Groove編を踏まえて）
7回目	Basicアレンジ演習
8回目	Rock 1 Track 完成
9回目	Basicアレンジ演習
10回目	Rock 2 Track 完成
11回目	Basicアレンジ演習
12回目	Pop Track 完成
13回目	Vo素材に対してのアレンジワーク（Rock、Pop編を踏まえて）
14回目	ワークショップ
15回目	ワークショップ

準備学習 時間外学習	様々なジャンルの曲を好き嫌いなく、楽器編成、配置、セクション別の変化の付け方等、アレンジに注目して聞き込む。自曲のMIDIプログラミングを面倒臭がらずにキッチリと行う。		
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	課題　100%
受講生への メッセージ	頭に描いた曲のイメージを具現化する為に必要不可欠なスキルです。楽曲制作の本当の楽しさを知りたければ、真剣に取り組んで下さい。		

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	レコーディング（recording）	必修選択	必修	年次	2	担当教員	吉川 豊
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	全コース			（単位）	4	曜日・時限	月曜3,4限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
レコーディングを行って行く上での基礎を実際にその知識が必要となる場面を交え、難しい取説や回路図など使わずにスキルを習得する。
実務者経験：株式会社ヒットキット代表。SPITZ、桜井和寿、GUKU-MC、清水翔太、高畑充希、コトリンゴ、小柳ゆき、どぶろっく、LUV K RAFT 、天童よしみ等、ジャンルを問わず数々のレコーディングに参加。

【到達目標】
コンソール、protoolsを使い生楽器の録音ができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	スタジオシステムを説明出来る
2回目	実際に音を出し、どのような信号の流れで録音されているのかを説明出来る
3回目	ケーブルの種類とマイクの種類を説明出来る
4回目	コンソール　信号の流れを説明出来る
5回目	マルチマイク録音時の注意点とセッティングを説明出来る
6回目	コンソール　SSLの特徴を説明出来る
7回目	コンソール　各パーツの役割を説明出来る
8回目	マイキングをを説明出来る
9回目	録音レベルの取り方　HAの詳細な使い方とフィルターの使い方を説明出来る
10回目	コンプレッサーとリバーブの使い方を説明出来る
11回目	protoolsテクニックの習得
12回目	protoolsテクニックの演習を行う（効率のよい操作を習得）
13回目	protoolsテクニックの演習を行う(プラグインの使い方を習得）
14回目	protoolsテクニックの演習を行う(auto tuneを習得）
15回目	習熟度テストを行う

準備学習時間外学習	ヒットチャートbest10に入ってる曲は常に聴いておいてください。 時間がある時はひたすらprotoolsでEDITの練習をしてください。		
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	実施試験（100%）
受講生へのメッセージ	好きな事を仕事にするのには、難しい事を沢山覚えないとならない。 難しい事を遊び感覚で楽しんで、できるように工夫する事が使い方の難しい機材を覚えていく上でのコツ。 自分の好きなCDを鞄に最低3枚は必ず入れて持ち歩いてください。 家で聞き慣れてるCDをスタジオの良いモニター環境で空いてる時間は常に聴いてください		

【使用教科書・教材・参考書】
CD

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	レコーディング（recording）	必修選択	必修	年次	2	担当教員	吉川 豊
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	後期
コース	全コース			（単位）	4	曜日・時限	月曜3,4限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
レコーディングを行って行く上での基礎を実際にその知識が必要となる場面を交え、難しい取説や回路図など使わずにスキルを習得する。
実務者経験：株式会社ヒットキット代表。SPITZ、桜井和寿、GUKU-MC、清水翔太、高畑充希、コトリンゴ、小柳ゆき、どぶろっく、LUV K RAFT 、天童よしみ等、ジャンルを問わず数々のレコーディングに参加。

【到達目標】
コンソール、protoolsを使い生楽器の録音ができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	復習　スタジオシステムを操作出来る
2回目	protoolsテクニックの演習を行う
3回目	protoolsテクニックの演習を行う
4回目	protoolsテクニックの演習を行う
5回目	protoolsテクニックの演習を行う
6回目	コンソール　SSLを使った演習を行う
7回目	コンソール　SSLを使った演習を行う
8回目	コンソール　SSLを使った演習を行う
9回目	コンソール　SSLを使った演習を行う
10回目	レコーディング　素材や人材を用いて演習を行う
11回目	レコーディング　素材や人材を用いて演習を行う
12回目	レコーディング　素材や人材を用いて演習を行う
13回目	レコーディング　素材や人材を用いて演習を行う
14回目	レコーディング　素材や人材を用いて演習を行う
15回目	習熟度テストを行う
準備学習時間外学習	ヒットチャートbest10に入ってる曲は常に聴いておいてください。 時間がある時はひたすらprotoolsでEDITの練習をしてください。
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 実施試験（100%）
受講生へのメッセージ	好きな事を仕事にするのには、難しい事を沢山覚えないとならない。 難しい事を遊び感覚で楽しんで、できるように工夫する事が使い方の難しい機材を覚えていく上でのコツ。 自分の好きなCDを鞄に最低3枚は必ず入れて持ち歩いてください。 家で聞き慣れてるCDをスタジオの良いモニター環境で空いてる時間は常に聴いてください

【使用教科書・教材・参考書】
CD

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	レコーディング（recording）	必修選択	選択必修	年次	3	担当教員	吉川 豊
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	演習	総時間（単位）	60	開講区分	前期
コース	全コース				4	曜日・時限	月曜5,6限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
録音する上で全ての知識が盛り込められてるvocal録音を毎時間、実際の現場と同じような形でレコーディングを行う。コミュニケーション力とprotoolsの正確さ、スピードを身に付けることが出来る。
実務者経験：株式会社ヒットキット代表。SPITZ、桜井和寿、GUKU-MC、清水翔太、高畑充希、コトリンゴ、小柳ゆき、どぶろっく、LUV K RAFT 、天童よしみ等、ジャンルを問わず数々のレコーディングに参加。

【到達目標】
自分達だけでバンドレコーディングが進められるようになる。
レコーディング時の流れについてこられるprotoolsの技術力。

授業計画・内容	
1回目	コンソールの復習　信号の流れを説明出来る
2回目	コンソールの復習　各部の使い方を説明出来る
3回目	protoolsの復習　セットアップを説明出来る
4回目	protoolsの復習　ショートカットを習得する
5回目	vocalREC　全体の流れをを説明出来る
6回目	vocalREC　コミニュケーションの取り方を習得する
7回目	vocalREC　適正なレベルと歌のコンプの使い方を習得する
8回目	vocalREC　歌のEDITを行う
9回目	vocalREC　protoolsを扱うスピード感を習得
10回目	vocalREC　音程の修正の仕方を習得
11回目	vocalREC　生徒だけで現場の流れを作る。ディレクション演習を行う
12回目	vocalREC　生徒だけで現場の流れを作る。ディレクション演習を行う
13回目	vocalREC　生徒だけで現場の流れを作る。ディレクション演習を行う
14回目	vocalREC　生徒だけで現場の流れを作る。ディレクション演習を行う
15回目	習熟度テストを行う
準備学習 時間外学習	時間のある時はスタジオでできるだけ録音をする。許す限りprotoolsを触っておく

評価方法			
	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	実施試験（100%）

受講生へのメッセージ	1年生の時に覚えた知識を応用するだけです。色々な場面で適したやり方を出せるように1年の時に覚えた知識を復習しておいてください

【使用教科書・教材・参考書】
CD

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	レコーディング（recording）	必修選択	選択必修	年次	3	担当教員	吉川 豊
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	演習	総時間（単位）	60	開講区分	後期
コース	全コース				4	曜日・時限	月曜5,6限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
録音する上で全ての知識が盛り込められてるvocal録音を毎時間、実際の現場と同じような形でレコーディングを行う。コミュニケーション力とprotoolsの正確さ、スピードを身に付けることが出来る。
実務者経験：株式会社ヒットキット代表。SPITZ、桜井和寿、GUKU-MC、清水翔太、高畑充希、コトリンゴ、小柳ゆき、どぶろっく、LUV K RAFT 、天童よしみ等、ジャンルを問わず数々のレコーディングに参加。

【到達目標】
自分達だけでバンドレコーディングが進められるようになる。
レコーディング時の流れについてこられるprotoolsの技術力。

授業計画・内容	
1回目	コンソールの復習　各部のセッティング・操作出来る
2回目	protoolsの復習　セットアップ・MIX作業の操作が出来る
3回目	vocalREC　生徒だけで現場の流れを作る。ディレクション演習を行う
4回目	vocalREC　生徒だけで現場の流れを作る。ディレクション演習を行う
5回目	vocalREC　生徒だけで現場の流れを作る。ディレクション演習を行う
6回目	vocalREC　生徒だけで現場の流れを作る。ディレクション演習を行う
7回目	vocalREC　生徒だけで現場の流れを作る。ディレクション演習を行う
8回目	vocalREC　生徒だけで現場の流れを作る。ディレクション演習を行う
9回目	vocalREC　生徒だけで現場の流れを作る。ディレクション演習を行う
10回目	vocalREC　生徒だけで現場の流れを作る。ディレクション演習を行う
11回目	vocalREC　生徒だけで現場の流れを作る。ディレクション演習を行う
12回目	vocalREC　生徒だけで現場の流れを作る。ディレクション演習を行う
13回目	vocalREC　生徒だけで現場の流れを作る。ディレクション演習を行う
14回目	vocalREC　生徒だけで現場の流れを作る。ディレクション演習を行う
15回目	習熟度テストを行う
準備学習時間外学習	時間のある時はスタジオでできるだけ録音をする。許す限りprotoolsを触っておく

評価方法			
	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	実施試験（100%）

受講生へのメッセージ	1年生の時に覚えた知識を応用するだけです。色々な場面で適したやり方を出せるように1年の時に覚えた知識を復習しておいてください

【使用教科書・教材・参考書】
CD

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	キャリア教育	必修選択	必修	年次	3	担当教員	阿部 哲也
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			（単位）	2	曜日・時限	火曜 6限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道をみつけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ（思いやりの心）を理解し、セルフマネジメント（自己管理）とチームマネジメント（協働作業）が実践的にできるようになるための科目である。
※実務者経験：シンガーソングライター「春翠」のギタリスト、マネージメントサポートとして、Live Like a Lilyレーベルよりリリース。その他演奏サポートやインストラクター、PAエンジニアやアーティストマネージメントなど、名古屋を中心に多岐にわたって活動。

【到達目標】
1. セルフマネジメント（自己理解）を実践できる
2. チームマネジメント（協働作業）を実践し、集団での役割を果たすことができる
3. 自己の働く意義（勤労観・職業観）を説明できる
4. 目指す業界を理解し、その特徴を説明できる
5. 自己実現（夢をかなえる）のための目標設定をし実践できる

授業計画・内容	
1回目	集団（クラス）づくりの理解と実践　（集団の中での自己の学校生活の土台づくりを行う）
2回目	サポートアンケート実施。その他のインフォメーション　働く意義（勤労観・職業観）を理解し考える
3回目	学園祭を盛り上げるためにはどうすれば良いか？「集団での役割」の理解と実践
4回目	ネットリテラシー「集団での役割」の理解と実践
5回目	「集団での役割」の理解と実践　＜学園祭準備活動＞
6回目	グループワーク：業界が求める人材を理解し、自己の目標を設定する
7回目	グループワーク：業界研究と自己の進路を考える　①
8回目	グループワーク：人としての「在り方・生き方」を考え、自己の進むべき方向を定める
9回目	グループワーク：希望進路を達成するための人間力を理解し、自己の現状を振り返りを行う
10回目	グループワーク：夢への一歩を踏み出す勇気を身につける
11回目	グループワーク：業界研究と自己の進路を考える　②
12回目	グループワーク：セルフマネジメント（自己理解）とチームマネジメント（協働作業）の振り返りを行う
13回目	グループワーク：振り返りとこれからの目標設定を行う
14回目	ミュージカル演習　リハーサル
15回目	ミュージカル演習　本番
準備学習時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する 3. 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する 4. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 課題成果（50%） 2. 出席率（50%）
受講生へのメッセージ	自分の強味を武器に自分らしさとは何かを発見していきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
筆記用具
iPad

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	キャリア教育	必修選択	必修	年次	3	担当教員	阿部 哲也
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			（単位）	2	曜日・時限	火曜 6限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道をみつけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ（思いやりの心）を理解し、セルフマネジメント（自己管理）とチームマネジメント（協働作業）が実践的にできるようになるための科目である。
※実務者経験：シンガーソングライター「春翠」のギタリスト、マネージメントサポートとして、Live Like a Lilyレーベルよりリリース。その他演奏サポートやインストラクター、PAエンジニアやアーティストマネージメントなど、名古屋を中心に多岐にわたって活動。

【到達目標】
1. セルフマネジメント（自己理解）を実践できる
2. チームマネジメント（協働作業）を実践し、集団での役割を果たすことができる
3. プロフィールシート作成ができるようになる

授業計画・内容	
1回目	自己理解 ① 働く意義（勤労観・職業観）を理解し考える
2回目	自己理解 ② 自己PR/プロフィールシート作成 ＜自己PR ・ 趣味特技＞
3回目	自己理解 ③ 自己PR/プロフィールシート作成 ＜専門分野 ・ 関心事＞
4回目	自己理解 ④ 自己PR/プロフィールシート作成 ＜志望動機 ・ 立志作文＞
5回目	企業研究 ① 新人発掘プレゼンテーションに向けての準備を行う ①
6回目	企業研究 ② 新人発掘プレゼンテーションに向けての準備を行う ②
7回目	企業研究 ③ 新人発掘プレゼンテーションに向けての準備を行う ③
8回目	社会人準備 ① 夢をかなえた先輩たちの「行動の原則 ＋α」を学ぶ
9回目	社会人準備 ② 夢をかなえた先輩たちの「行動の原則 ＋α」を学ぶ
10回目	社会人準備 ③ マネー教育（収入と支出のバランスを学ぶ）
11回目	「集団での役割」の理解と実践 ① ＜WeareNSM準備活動＞ ・ 自己理解と進級発表の準備を行う ①
12回目	「集団での役割」の理解と実践 ② ＜WeareNSM準備活動＞ ・ 自己理解と進級発表の準備を行う ②
13回目	進級発表 リハーサル
14回目	進級発表 リハーサル
15回目	進級発表 本番
準備学習 時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する 3. 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する 4. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 課題成果（50%） 2. 出席率（50%）
受講生へのメッセージ	自分の強味を武器に自分らしさとは何かを発見していきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
筆記用具
iPad

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	キャリア教育	必修選択	必修	年次	3	担当教員	阿部 哲也
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	演習	総時間（単位）	30	開講区分	前期
コース	全コース				2	曜日・時限	火曜 6限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道をみつけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ（思いやりの心）を理解し、セルフマネジメント（自己管理）とチームマネジメント（協働作業）が実践的にできるようになるための科目である。
※実務者経験：シンガーソングライター「春翠」のギタリスト、マネージメントサポートとして、Live Like a Lilyレーベルよりリリース。その他演奏サポートやインストラクター、PAエンジニアやアーティストマネージメントなど、名古屋を中心に多岐にわたって活動。

【到達目標】
1. セルフマネジメント（自己理解）を実践できる
2. チームマネジメント（協働作業）を実践し、集団での役割を果たすことができる
3. 自己の働く意義（勤労観・職業観）を説明できる
4. 目指す業界を理解し、その特徴を説明できる
5. 自己実現（夢をかなえる）のための目標設定をし実践できる

授業計画・内容	
1回目	クラスのノームの意識付を行い「学生生活の基盤」を作る、クラス目標の作成を行う
2回目	「主体性」：状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することが出来るようになる
3回目	起こり得る学校行事においての学生の状況やモチベーションを説明し、計画的に主体的行動がとれるよう考えさせる
4回目	「傾聴力」：人の話を聞くことの重要性を知り、相手との信頼関係を作ることから仕事とは何かを知る
5回目	「発信力」：伝える内容をわかりやすく伝える力を学ぶ
6回目	「傾聴力」「発信力」をワークショップ形式で実践させ講義で覚えるだけでなく行動出来るようにする
7回目	イベントスタッフとしてで活動する上での言葉遣いやマナーを学ぶ
8回目	学園祭やイベントを通じて自分自身の課題を発見し、解決していく力を養う
9回目	エンターテイメント業界で活躍している企業の方をお招きし、職種や働き方を学ぶ
10回目	「計画力」：計画的に行動する力を学ぶ
11回目	「実行力」：目標を設定して着実に行動する力を学ぶ
12回目	「課題発見力」：今の状況から課題を見つける力を学ぶ
13回目	夏休みに入るにあたり現場での態度・マナーや「明日への扉」について説明しやる気や成長に繋げる
14回目	ミュージカル演習　リハーサル
15回目	ミュージカル演習　本番
準備学習時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する 3. 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する 4. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 課題成果（50%） 2. 出席率（50%）
受講生へのメッセージ	自分の強味を武器に自分らしさとは何かを発見していきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
筆記用具
iPad

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	キャリア教育	必修選択	必修	年次	3	担当教員	阿部 哲也
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			（単位）	2	曜日・時限	火曜 6限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道をみつけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ（思いやりの心）を理解し、セルフマネジメント（自己管理）とチームマネジメント（協働作業）が実践的にできるようになるための科目である。
※実務者経験：シンガーソングライター「春翠」のギタリスト、マネージメントサポートとして、Live Like a Lilyレーベルよりリリース。その他演奏サポートやインストラクター、PAエンジニアやアーティストマネージメントなど、名古屋を中心に多岐にわたって活動。

【到達目標】
1. セルフマネジメント（自己理解）を実践できる
2. チームマネジメント（協働作業）を実践し、集団での役割を果たすことができる
3. プロフィールシート作成ができるようになる

授業計画・内容	
1回目	合同企業説明会を前にして仕事という理解を深めると共に社会の中での自分の役割とは何かを考える
2回目	「チームワーク力」：現状況と役割を理解して協力し合う大切さを学ぶ
3回目	「働き欠け力」：自分から進んで取り組む力、チームワーク力と共に必要であることを学ぶ
4回目	「創造力」：新しい価値を生み出す力をグループワークショップ方式で学ぶ
5回目	ジョブカードを用い、職業理解を深める
6回目	【履歴書の書き方】これまで取り組んできた学内イベントを整理し、自らの経験を伝えられるようになる
7回目	【履歴書の書き方】自分について伝えられるようになるため自己理解を深め客観視出来るようになる
8回目	【履歴書の書き方】ジョブカード作成内、自分の長所・短所が伝えられるようになる
9回目	エンターテイメント業界で活躍している企業の方をお招きし、職種や働き方を学ぶ
10回目	日常スコアシートを用い、仕事の上での自分の特性を知り自己理解を深める
11回目	SMBCファイナンスの方をお招きし、マネー講座を開催、社会人になった時に掛かるお金について学ぶ
12回目	社会に出る際のビジネスマナー・身なり・挨拶の大切さを学ぶ
13回目	社会に出る際のビジネスマナー・メールのやり取り・座席位置
14回目	進級発表　リハーサル
15回目	進級発表　本番
準備学習 時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する 3. 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する 4. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 課題成果（50%） 2. 出席率（50%）
受講生へのメッセージ	自分の強味を武器に自分らしさとは何かを発見していきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
筆記用具
iPad

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	キャリア教育	必修選択	必修	年次	3	担当教員	阿部 哲也
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			（単位）	2	曜日・時限	火曜 6限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道をみつけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ（思いやりの心）を理解し、セルフマネジメント（自己管理）とチームマネジメント（協働作業）が実践的にできるようになるための科目である。
※実務者経験：シンガーソングライター「春翠」のギタリスト、マネージメントサポートとして、Live Like a Lilyレーベルよりリリース。その他演奏サポートやインストラクター、PAエンジニアやアーティストマネージメントなど、名古屋を中心に多岐にわたって活動。

【到達目標】
1. セルフマネジメント（自己理解）を実践できる
2. チームマネジメント（協働作業）を実践し、集団での役割を果たすことができる
3. 自己の働く意義（勤労観・職業観）を説明できる
4. 目指す業界を理解し、その特徴を説明できる
5. 自己実現（夢をかなえる）のための目標設定をし実践できる

授業計画・内容	
1回目	新社会人の心得ワーク
2回目	ハートビーイングワーク
3回目	10年後の目標の立て方
4回目	5年後の目標の立て方
5回目	3年後の目標の立て方
6回目	自分の世界観をまとめていく方法
7回目	キューブを使ってのコミュニケーションワーク
8回目	アンケート形式、プレゼンテーション
9回目	グループワークを活用し良い習慣を習得する
10回目	自分の世界観をまとめていく方法、新社会人の心得を使用し復讐を行う。
11回目	キューブを使ってのコミュニケーションワーク、新社会人の心得を使用し復讐を行う。
12回目	アンケート形式、プレゼンテーション、セルフプレゼンテーション自主確認。
13回目	ハートビーイングワーク、セルフプレゼンテーション自主確認。
14回目	ミュージカル演習　リハーサル
15回目	ミュージカル演習　本番
準備学習時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する 3. 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する 4. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 課題成果（50%） 2. 出席率（50%）
受講生へのメッセージ	自分の強味を武器に自分らしさとは何かを発見していきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
筆記用具
iPad

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	キャリア教育	必修選択	必修	年次	3	担当教員	阿部 哲也
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			（単位）	2	曜日・時限	火曜 6限

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道をみつけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ（思いやりの心）を理解し、セルフマネジメント（自己管理）とチームマネジメント（協働作業）が実践的にできるようになるための科目である。
※実務者経験：シンガーソングライター「春翠」のギタリスト、マネージメントサポートとして、Live Like a Lilyレーベルよりリリース。その他演奏サポートやインストラクター、PAエンジニアやアーティストマネージメントなど、名古屋を中心に多岐にわたって活動。

【到達目標】
1. セルフマネジメント（自己理解）を実践できる
2. チームマネジメント（協働作業）を実践し、集団での役割を果たすことができる
3. プロフィールシート作成ができるようになる

授業計画・内容	
1回目	新社会人の心得を使用し復讐を行う。
2回目	ハートビーイングワーク、セルフプレゼンテーション自主確認。
3回目	10年後の目標の立て方
4回目	5年後の目標の立て方
5回目	3年後の目標の立て方
6回目	自分の世界観をまとめていく方法
7回目	キューブを使ってのコミュニケーションワーク、新社会人の心得を使用し復讐を行う。
8回目	セルフプレゼンテーション自主確認。
9回目	キューブを使ってのコミュニケーションワーク
10回目	自分の世界観をまとめていく方法、新社会人の心得を使用し復讐を行う。
11回目	キューブを使ってのコミュニケーションワーク、新社会人の心得を使用し復讐を行う。
12回目	アンケート形式、プレゼンテーション、セルフプレゼンテーション自主確認。
13回目	ハートビーイングワーク、セルフプレゼンテーション自主確認。
14回目	進級発表　リハーサル
15回目	進級発表　本番
準備学習 時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する 3. 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する 4. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 課題成果（50%） 2. 出席率（50%）
受講生へのメッセージ	自分の強味を武器に自分らしさとは何かを発見していきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
筆記用具
iPad

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ソングライティング（songwriting）	必修選択	必修選択	年次	1年	担当教員	野崎　貴潤
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30	開講区分	前期
コース	全コース				2	曜日・時限	木曜5限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
主にメジャーダイアトニックコードについて、またコード進行制作の基礎を習得
〈講師プロフィール〉日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。

【到達目標】
ダイアトニックコードの理解とコードトーンの理解
ダイアトニックコードを使用したコード進行を制作できるようになる

授業計画・内容	
1回目	Key of Cのメジャーダイアトニックコード（3和音）とディグリーネームについてを習得
2回目	Key of Cのメジャーダイアトニックコードを使ったコード進行と定番のコード進行を習得
3回目	Key of Cのメジャーダイアトニックコード、コードトーンを使ったメロディーについてを習得
4回目	Key of G・Dのメジャーダイアトニックコード（3和音）とディグリーネームについてを習得
5回目	Key of A・E・Fのメジャーダイアトニックコード（3和音）とディグリーネームについてを習得
6回目	メジャーダイアトニックコードについての復習
7回目	中間テスト
8回目	Key of Cのメジャーダイアトニックコード4和音についと、コード進行作成演習、ディグリーネームを使った演
9回目	＃系Keyのメジャーダイアトニックコード4和音について、コード進行作成演習、キーチェンジ（移調）を習得
10回目	b系Keyのメジャーダイアトニックコード4和音について、コード進行作成演習、キーチェンジ（移調）を習得
11回目	sus4コードの紹介と使用法を習得
12回目	メジャーダイアトニックコードを使ったコード進行制作演習と期末試験の課題発表し制作を行う
13回目	メジャーダイアトニックコードを使ったコード進行制作演習と期末試験の課題発表し制作を行う
14回目	メジャーダイアトニックコードを使ったコード進行制作演習と期末試験の課題発表し制作を行う
15回目	実技テスト

準備学習時間外学習	授業内で紹介されたアーティストの楽曲を聴いておきましょう。 授業で習った事を実践してみましょう。		
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	実技テスト（提示された課題に沿って、楽曲制作ができるか）
受講生へのメッセージ	●1曲でも多く曲を書く事が大切です。不恰好でも良いので沢山曲を作り、それを録音（保存）しておくようにしましょう。 ●ヒット曲や有名な曲を常に聴くように心がけてください。 ●各自が手に取る楽器や歌のスキルも上げるようにしておきましょう。そのことが作曲をする上で重要になってきます。 ●DAW（ProTools、Logic etc)の扱い方も勉強しておきましょう。		

【使用教科書・教材・参考書】
楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ソングライティング（songwriting）	必修選択	必修選択	年次	1年	担当教員	野崎　貴潤
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30	開講区分	後期
コース	全コース				2	曜日・時限	木曜6限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
主にメジャーダイアトニックコードの復習にあわせサブドミナントマイナーコードについて、またコード進行制作とメロディーのアナライズを行う事により、楽曲制作の基礎を習得。Bluesなど特殊なコード進行についても学び、音楽の視野を広げる。
〈講師プロフィール〉日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。

【到達目標】
ダイアトニックコードとノンダイアトニックコードを理解しコード進行制作ができる
楽曲のアナライズ（コード進行・メロディーライン）が行えるようになる

授業計画・内容	
1回目	メジャーダイアトニックコードとポピュラーミュージックでよく出るサブドミナントマイナーコードを習得
2回目	メジャーダイアトニックコードとポピュラーミュージックでよく出るサブドミナントマイナーコードを習得
3回目	サブドミナントマイナーの入るコード進行でのメロディーの制作を行う
4回目	サブドミナントマイナーの入るコード進行でのメロディーの制作を行う
5回目	Ⅱm7-Ⅴ7進行を習得
6回目	Ⅱm7(b5)-Ⅴ7(b9)進行を習得
7回目	中間テスト
8回目	Blues進行を習得
9回目	Blues進行とJazz Bluesを習得
10回目	Ⅱm7-Ⅴ7を使用したコード進行についてを習得
11回目	Ⅱm7-Ⅴ7を使用したコード進行について実践できる
12回目	コード進行とメロディーラインの関係について（アナライズ・分析演習）①
13回目	コード進行とメロディーラインの関係について（アナライズ・分析演習）②
14回目	コード進行とメロディーラインの関係について（アナライズ・分析演習）③
15回目	期末テスト
準備学習 時間外学習	授業内で紹介されたアーティストの楽曲を聴いておきましょう。 授業で習った事を実践してみましょう。
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 実技テスト（提示された課題に沿って、楽曲制作ができるか）
受講生へのメッセージ	●1曲でも多く曲を書く事が大切です。不恰好でも良いので沢山曲を作り、それを録音（保存）しておくようにしましょう。 ●ヒット曲や有名な曲を常に聴くように心がけてください。 ●各自が手に取る楽器や歌のスキルも上げるようにしておきましょう。そのことが作曲をする上で重要になってきます。 ●DAW（ProTools、Logic etc)の扱い方も勉強しておきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ソングライティング（songwriting）	必修選択	選択必修	年次	2年	担当教員	野崎　貴潤
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60	開講区分	前期
コース	全コース				4	曜日・時限	木曜1.2限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
Logic,GarageBandを使い基本的なDTMの知識、扱い方を学び、打ち込みの技術を身につける。
〈講師プロフィール〉
日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。

【到達目標】
DTMの基本的な操作方法を身につけ、自身の曲のデモバージョンを打ち込めるようになる。

授業計画・内容	
1回目	授業内容説明、DTMでの作業及び作曲の手順について、PCの立ち上げ、セッション作成、保存を理解できる
2回目	Logic,GarageBand① 機能の説明/302講習　8の字巻きが出来る
3回目	Logic,GarageBand② 機能の説明、ツールを理解出来る
4回目	Logic,GarageBand③ 打ち込み練習（Drum）・トラックスタックを習得
5回目	Logic,GarageBand④ 打ち込みが出来る（Drum,Bass）
6回目	Logic,GarageBand⑤ 打ち込みが出来る（Drum,Bass,Piano）
7回目	Logic,GarageBand⑥ 打ち込みが出来る（Drum,Bass,Piano,Guitar）
8回目	Logic,GarageBand⑦ 打ち込みが出来る
9回目	Logic,GarageBand⑦ Plug inの基本、説明（AUX,BUS）が理解できる
10回目	Logic,GarageBand⑧ Plug inの説明(Reverbとその種類)が理解できる
11回目	Logic,GarageBand⑨ Plug inの説明（Compressor,EQ）が理解できる
12回目	Logic,GarageBand⑩ Plug inの復習
13回目	Logic,GarageBand⑩ Plug inの応用が出来る
14回目	Logic,GarageBand⑩ Plug inの応用が出来る
15回目	実技テスト
準備学習時間外学習	授業の内容が難しいことが多いため、毎回の復習が必要になります。
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 実技テスト（提示された課題に対して正しく打ち込みができるか、また基本操作を習得しているか）
受講生へのメッセージ	最近ではDTMを扱えるミュージシャンが増えてきているため、毎回の授業の中で理解度を高め、しっかりと学習をしてください。

【使用教科書・教材・参考書】
楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ソングライティング（songwriting）	必修選択	選択必修	年次	2年	担当教員	野崎　貴潤
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60	開講区分	後期
コース	全コース				4	曜日・時限	木曜3.4限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
Logic,GarageBandを使い基本的なDTMの知識、扱い方を学び、打ち込みの技術を身につける。
〈講師プロフィール〉
日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。

【到達目標】
DTMの基本的な操作方法を身につけ、自身の曲のデモバージョンを打ち込めるようになる。

授業計画・内容	
1回目	マイクの種類について理解できる
2回目	色々な種類のマイクを使った録音が出来る
3回目	音質（ビットレート）・圧縮データ/非圧縮データ・バウンスについて理解できる
4回目	オートメーションを書く（strings EQ）拍子・BPMの切り替えが出来る
5回目	自身の曲の曲作り
6回目	自身の曲の歌どりが出来る
7回目	Melodyneを使ったピッチ修正を習得
8回目	Melodyneを使ったピッチ修正を習得
9回目	簡単Mix① 音量と配置を理解出来る
10回目	簡単Mix② CompressorとEQを使う事が出来る
11回目	簡単Mix③ 空間系プラグインを使う事が出来る（reverb他）
12回目	①②③を実際に応用できる
13回目	①②③を実際に応用できる
14回目	これまでの授業の復習、応用
15回目	実技テスト
準備学習時間外学習	授業の内容が難しいことが多いため、毎回の復習が必要になります。
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 実技テスト（提示された課題に対して正しく打ち込みができるか、また基本操作を習得しているか）
受講生へのメッセージ	最近ではDTMを扱えるミュージシャンが増えてきているため、毎回の授業の中で理解度を高め、しっかりと学習をしてください。

【使用教科書・教材・参考書】
楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ソングライティング（songwriting）	必修選択	選択必修	年次	3年	担当教員	野崎　貴潤
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60	開講区分	前期
コース	全コース				4	曜日・時限	金曜1.2限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
Logic,GarageBandを使い基本的なDTMの知識、扱い方を学び、打ち込みの技術を身につける。
〈講師プロフィール〉
日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる

【到達目標】
DTMの基本的な操作方法を身につけ、自身の曲のデモバージョンを打ち込めるようになる。

授業計画・内容	
1回目	授業内容説明、1学年の復習
2回目	色々な楽曲の分析①コード進行、メロディを理解出来る
3回目	色々な楽曲の分析②コード進行、メロディを理解出来る
4回目	色々な楽曲の分析③アレンジが出来る
5回目	色々な楽曲の分析④アレンジが出来る
6回目	色々な楽曲の分析⑤アレンジが出来る
7回目	色々な楽曲の分析⑥歌詞を理解出来る
8回目	色々な楽曲の分析⑦歌詞を理解出来る
9回目	楽曲の制作①Logicを使用できる
10回目	楽曲の制作②Logicを使用できる
11回目	楽曲の制作③Logicを使用できる
12回目	楽曲の制作④Logicを使用できる
13回目	自分たちが作った楽曲の発表、分析
14回目	前期の授業の復習
15回目	実技テスト
準備学習時間外学習	授業の内容が難しいことが多いため、毎回の復習が必要になります。
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 実技テスト（提示された課題に沿って楽曲制作ができるか）
受講生へのメッセージ	最近ではDTMを扱えるミュージシャンが増えてきているため、毎回の授業の中で理解度を高め、しっかりと学習をしてください。

【使用教科書・教材・参考書】
楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ソングライティング（songwriting）	必修選択	選択必修	年次	3年	担当教員	野崎　貴潤
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60	開講区分	後期
コース	全コース				4	曜日・時限	金曜3.4限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
Logic,GarageBandを使い基本的なDTMの知識、扱い方を学び、打ち込みの技術を身につける。
〈講師プロフィール〉
日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる

【到達目標】
DTMの基本的な操作方法を身につけ、自身の曲のデモバージョンを打ち込めるようになる。

授業計画・内容	
1回目	前期の授業の復習
2回目	Logicを使った楽曲の制作①テーマ、コンセプトを理解する
3回目	Logicを使った楽曲の制作②コード進行、メロディを理解出来る
4回目	Logicを使った楽曲の制作③コード進行、メロディを理解出来る
5回目	Logicを使った楽曲の制作④アレンジが出来る
6回目	Logicを使った楽曲の制作⑤アレンジが出来る
7回目	Logicを使った楽曲の制作⑥アレンジが出来る
8回目	Logicを使った楽曲の制作⑦アレンジ、作詞を分析出来る
9回目	Logicを使った楽曲の制作⑧アレンジ、作詞を分析出来る
10回目	Logicを使った楽曲の制作⑨アレンジ、歌録りが出来る
11回目	Logicを使った楽曲の制作⑩Mixが出来る
12回目	Logicを使った楽曲の制作⑩マスタリングが出来る
13回目	Logicを使った楽曲の制作⑪Mix、マスタリングが出来る
14回目	後期の授業の復習
15回目	実技テスト
準備学習 時間外学習	授業の内容が難しいことが多いため、毎回の復習が必要になります。
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 実技テスト（提示された課題に沿って楽曲制作ができるか）
受講生への メッセージ	最近ではDTMを扱えるミュージシャンが増えてきているため、毎回の授業の中で理解度を高め、しっかりと学習をしてください。

【使用教科書・教材・参考書】
楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	コンポジションプロジェクト（Composition Project）	必修選択	必修選択	年次	1・2年	担当教員	井上　直
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義または演習	総時間（単位）	60	開講区分	前期
コース	全コース				4	曜日・時限	月曜5,6限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

コンセプトワークからコンポーズ・アレンジ、ブッキング・レコーディング・ディレクション・マスタリング・パッケージ・納品・コンテンツ作成まで各々が現場に立ち、プロデュースを行う。本授業を通し、グループワークと柔軟性を習得する。近年のクリエイターの活動傾向を鑑みて、楽曲・志向・活動等を具体的且つ視覚的にデザインし、“アピール”するというマインドを習得する。

※実務者経験：株式会社ポニーキャニオン所属　主業務はマニピュレーター＆キーボード、作曲、編曲をはじめ、レコーディングからディレクション、マスタリング、オーサリングまで担当。

【到達目標】

◆コンセプト・プロット・企画書完成、作曲・アレンジに取りかかり、コンテンツ完成までの50%以上が完了。
◆流行のコンテンツサービスをはじめ、音楽・動画配信の定義と仕組み説明ができるようになる。
◆著作物を扱うリテラシーを習得する。
◆本授業通して自身の活動スタイルに合わせたコンテンツを発見する。

授業計画・内容	
1回目	【オリエンテーション】卒業制作のレギュレーションとフローの説明、目標設定発表、グループ決め、スケジュール表を制作する
2回目	【講義】CDのメリットデメリット、配信のメリットデメリット、また情報を発信できるサイトやツール・SNSの紹介・特色を分析出来る
3回目	【コンセプトワーク】アルバムを制作するにあたり、コンセプトを明確に表記した企画書の作成が出来る
4回目	【コンセプトワーク2】企画書、スケジュール表を提出(企画書スケジュールのリテイクあり）企画の通ったグループから作品制作演習を行う
5回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談）スケジュールと制作演習を行う
6回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談）スケジュールと制作演習を行う　※企画書提出〆切
7回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談）スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
8回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談）スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
9回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談）スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
10回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談）スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
11回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談）スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
12回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談）スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
13回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談）スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
14回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談）スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
15回目	【OC(質問事項に対しての講義)】スケジュールと制作演習を行う、現地点での制作楽曲のプレゼンが出来る

準備学習 時間外学習	授業だけではまかないきれないので、時間外の制作がほとんどになると思います。 たくさん曲を制作することになりますので、自分の表現したいイメージを十分に膨らませておいてください。		
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	レポート60%(進捗報告とクオリティチェックで判断） 課題成果40%(クオリティチェック後の次回授業での報告で評価）
受講生への メッセージ	NSMで学んできたこと、経験してきたことの集大成を作り上げる卒業制作プロジェクトです。 音楽的クオリティの追求からアートワーク作成、各々が自身の活動に合うコンテンツ作成までをつくりあげます。 全力を尽くして作品創作に臨みましょう。		

【使用教科書・教材・参考書】

プロットを作成するシーンが多いため、必ず専用のノートと筆記用具を持参。
(シャープペンシルや鉛筆など、消すことが可能なステーショナリー推奨)
必要に応じて保存メディア・個人ストレージを用意

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	コンポジションプロジェクト（Composition Project）	必修選択	必修選択	年次	1・2年	担当教員	井上　直
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義または演習	総時間（単位）	60	開講区分	後期
コース	全コース				4	曜日・時限	月曜5,6限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

コンセプトワークからコンポーズ・アレンジ、ブッキング・レコーディング・ディレクション・マスタリング・パッケージ・納品・コンテンツ作成まで各々が現場に立ち、プロデュースを行う。本授業を通し、グループワークと柔軟性を習得する。近年のクリエイターの活動傾向を鑑みて、楽曲・志向・活動等を具体的且つ視覚的にデザインし、“アピール”するというマインドを習得する。

※実務者経験：株式会社ポニーキャニオン所属　主業務はマニピュレーター＆キーボード、作曲、編曲をはじめ、レコーディングからディレクション、マスタリング、オーサリングまで担当。

【到達目標】

◆コンセプト・プロット・企画書完成、作曲・アレンジに取りかかり、コンテンツ完成までの50%以上が完了。
◆流行のコンテンツサービスをはじめ、音楽・動画配信の定義と仕組み説明ができるようになる。
◆著作物を扱うリテラシーを習得する。
◆本授業通して自身の活動スタイルに合わせたコンテンツを発見する。

授業計画・内容	
1回目	【コンセプトワーク】アルバム制作のスケジュール確認
2回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
3回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
4回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
5回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
6回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
7回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
8回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
9回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
10回目	【OC(質問事項に対しての講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
11回目	【制作演習】CDアルバム制作スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
12回目	【制作演習】CDアルバム制作スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
13回目	【制作演習】CDアルバム制作スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
14回目	【制作演習】CDアルバム制作スケジュールと制作演習を行う　※クオリティチェック
15回目	【制作演習】CDアルバム制作、楽曲のプレゼンが出来る

準備学習 時間外学習	授業だけではまかないきれないので、時間外の制作がほとんどになると思います。 たくさん曲を制作することになりますので、自分の表現したいイメージを十分に膨らませておいてください。		
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	レポート60%(進捗報告とクオリティチェックで判断) 課題成果40%(クオリティチェック後の次回授業での報告で評価)
受講生への メッセージ	NSMで学んできたこと、経験してきたことの集大成を作り上げる卒業制作プロジェクトです。 音楽的クオリティの追求からアートワーク作成、各々が自身の活動に合うコンテンツ作成までをつくりあげます。 全力を尽くして作品創作に臨みましょう。		

【使用教科書・教材・参考書】

プロットを作成するシーンが多いため、必ず専用のノートと筆記用具を持参。
(シャープペンシルや鉛筆など、消すことが可能なステーショナリー推奨)
必要に応じて保存メディア・個人ストレージを用意

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	コンポジションプロジェクト（Composition Project）	必修選択	必修選択	年次	3年	担当教員	北野　正人
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義または演習	総時間（単位）	60	開講区分	前期
コース	全コース				4	曜日・時限	火曜5,6限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ProToolsを使用。デジタルシミュレートと実機との違い。コンソールを使用したルーティングとDAWでのルーティングの統合。倍音やDelayを経ての音の変化。デジタル全盛の中、なぜ海外ではアナログ機器が再燃しているのか？上記仕組みを理解すれば、音の変化がないデジタルで、アナログのように使用できるようになる。

※実務者経験：day after tomorrow(avex trax)のメンバーとして、第44回日本レコード大賞新人賞、第17回日本ゴールドディスク大賞ニュー・アーティスト・オブ・ザ・イヤー受賞、ベストヒット歌謡祭2004ゴールド・アーティスト賞を受賞、現在所属事務所は株式会社ハウフルス、レーベルはVapに在籍

【到達目標】

アナログ機器を学ぶことによって、DAWがいかにアナログのシミュレートであるかを理解でき、物理的な音楽制作の仕組みを理解することを目的とする。音の原理を学び、飽和を理解し、音数に頼らない、よりプロとしての音楽制作ができること。

授業計画・内容	
1回目	制作知識1(信号の流れ、音の方向性、周波数の理解する)
2回目	制作知識2(位相、イコライジング、レイヤー、周波数からの積み方を学ぶ)
3回目	センターラインの作り方1（様々な低域の作り方を学ぶ）
4回目	センターラインの作り方2（ワイドレンジでとらえたセンターラインを学ぶ）
5回目	機材知識1(605コンソール、コンプレッサーの使用方法を学ぶ)
6回目	605コンソールを使用してのトラッキング 各種プラグインの使い方を学ぶ
7回目	605コンソールを使用してのトラッキング 各種プラグインの使い方を学ぶ
8回目	試験
9回目	試験
10回目	機材知識2(903studioの使用方法)
11回目	機材知識3(AWS900を用いた、イコライジング やコンプを学ぶ)
12回目	機材知識4(データ作成方法、ボーカルレコーディングを学ぶ)
13回目	AWS900を使用したトラッキングをする
14回目	ワークショップ
15回目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生への メッセージ	NSMで学んできたこと、経験してきたことの集大成を作り上げる卒業制作プロジェクトです。 音楽的クオリティの追求からアートワーク作成、各々が自身の活動に合うコンテンツ作成までをつくりあげます。 全力を尽くして作品創作に臨みましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	コンポジションプロジェクト（Composition Project）	必修選択	必修選択	年次	3年	担当教員	北野 正人
学科	音楽テクノロジー科	授業形態	講義または演習	総時間（単位）	60	開講区分	後期
コース	全コース				4	曜日・時限	火曜5,6限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ProToolsを使用。デジタルシミュレートと実機との違い。コンソールを使用したルーティングとDAWでのルーティングの統合。倍音やDelayを経ての音の変化。デジタル全盛の中、なぜ海外ではアナログ機器が再燃しているのか？上記仕組みを理解すれば、音の変化がないデジタルで、アナログのように使用できるようになる。

※実務者経験：day after tomorrow(avex trax)のメンバーとして、第44回日本レコード大賞新人賞、第17回日本ゴールドディスク大賞ニュー・アーティスト・オブ・ザ・イヤー受賞、ベストヒット歌謡祭2004ゴールド・アーティスト賞を受賞、現在所属事務所は株式会社ハウフルス、レーベルはVapに在籍

【到達目標】

アナログ機器を学ぶことによって、DAWがいかにアナログのシミュレートであるかを理解でき、物理的な音楽制作の仕組みを理解することを目的とする。音の原理を学び、飽和を理解し、音数に頼らない、よりプロとしての音楽制作ができること。

授業計画・内容	
1回目	制作知識2(信号の流れ、音の方向性、周波数の理解する)
2回目	制作知識3(位相、イコライジング、レイヤー、周波数からの積み方を学ぶ)
3回目	センターラインの作り方１（様々な低域の作り方を学ぶ）
4回目	センターラインの作り方２（ワイドレンジでとらえたセンターラインを学ぶ）
5回目	機材知識1(605コンソール、コンプレッサーの使用方法を学ぶ)
6回目	605コンソールを使用してのトラッキング 各種プラグインの使い方を学ぶ
7回目	605コンソールを使用してのトラッキング 各種プラグインの使い方を学ぶ
8回目	試験
9回目	試験
10回目	機材知識2(903studioの使用方法)
11回目	機材知識3(AWS900を用いた、イコライジング やコンプを学ぶ)
12回目	機材知識4(データ作成方法、ボーカルレコーディングを学ぶ)
13回目	AWS900を使用したトラッキングをする
14回目	卒業制作
15回目	卒業制作
準備学習 時間外学習	
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生への メッセージ	NSMで学んできたこと、経験してきたことの集大成を作り上げる卒業制作プロジェクトです。 音楽的クオリティの追求からアートワーク作成、各々が自身の活動に合うコンテンツ作成までをつくりあげます。 全力を尽くして作品創作に臨みましょう。

【使用教科書・教材・参考書】